

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。

保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 DRY-ST7000c, DRY-ST7000d	
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から1年
お客様 お名前 ご住所 TEL ()	様
販売店 店名 住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 本体内蔵のバックアップ電池やディスプレイ、microSDカードなどの付属品および消耗品の消耗による交換

5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

故障内容記入欄

※ 本書を紛失しないよう大切に保管してください。
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

カメラ一体型ドライブレコーダー

DRY-ST7000c DRY-ST7000d

取扱説明書

12V車専用

本機で使用する専用ビューアソフトは、付属のmicroSDカード内に収録されていません。
お手数ですが、弊社ホームページ (<http://www.yupiteru.co.jp/>) からダウンロードしてご利用ください。

安心してお使いいただくために、必ず1～2週間に一度、本機でSDカードのフォーマットを行ってください。

HDR 搭載
(ハイダイナミックレンジ)

白トビや黒ツブレを抑え、
より明瞭な映像を記録します。

アクティブセーフティ 搭載

- スタートインフォメーション
- レーンキープアシスト
- 前方衝突防止アラート



このたびは、弊社製品のドライブレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、付属品の microSD カードに動画を常時録画します。

⚠ 注意

- ・事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ず電源 OFF してから microSD カードを抜いて保管してください。
- ⚠ 電源 ON の状態で microSD カードの抜き差しを行わないでください。microSD カード破損の原因となります。必ず、電源 OFF 後、電源ランプが 3 秒以上消灯したことを確認し、microSD カードの抜き差しを行ってください。

株式会社ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

6SS1982-B

●重要事項●



必ず 1 ～ 2 週間に一度、本機で SD カードのフォーマットを行ってください。

なぜ SD カードのフォーマットが必要なのか…

SD カードはフォーマットせずに使い続けると、記録できない領域（＝不良セクタ）が発生します。不良セクタには書き込みができないため、不良セクタが多くなると記録時間が短くなり、「記録できない」、「必要な録画ファイルが上書きされてしまう」といったことが起こる可能性があります。1 ～ 2 週間に一度 SD カードをフォーマット（● P.12）することで、正常に動作することができますので必ず行ってください。

●大切なデータはバックアップしましょう。

フォーマットを行うと、「SD カード内にある録画ファイル（保護したファイル含む）」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップをしてからフォーマットすることをお勧めします。（● P.12）

●SD カードは消耗品です。

フォーマットしても SD カードエラー（● P.71）が頻繁に表示される場合は、SD カードの寿命が考えられますので買換えをお勧めします。

●SD カードの買換えは純正品をお勧めします。

どの SD カードにも本機との相性問題があります。市販品の SD カードでは最悪使用することができない場合があります。純正品でしたらその心配はありませんので安心してご利用いただけます。

お使いの機種と一緒に買い上げの販売店、またはお近くの弊社取扱店に SD カードをご注文ください。

確認とご注意

安全上のご注意	4
使用上のご注意	8
もしも事故が起きたら・・・	10
SD カードをフォーマットする	12

基礎知識

各部の名称と働き	13
1. 付属品	14
2. 別売品	14
SD カードの取り外し / 装着	15
1. SD カードを本体から取り外す	15
2. SD カードを本体へ装着する	15
動画記録モード	16
録画について	17
1. 常時録画	18
2. イベント記録 (G センサー記録とワンタッチ記録)	18
3. 上書きモードについて	19
Active Safety (アクティブ セーフティ) 機能について	21
1. Start information (スタート インフォメーション)	21

2. レーンキープアシスト	22
3. 前方衝突防止アラート	22
動体検知機能 (Motion Detect) について	23
1. 動体検知機能を ON する	24
2. 駐車記録をする	24
3. 動体検知機能を OFF する	25
4. 録画ファイルを確認する	26

メンテナンスについて	27
初期値について	29

すぐに使う

本機の取り付け	30
1. 本機を取り付ける	31
2. 電源を接続する	33
別売品の取り付け	35
1. マルチバッテリー (OP-MB4000) の接続方法	35
2. 電圧監視機能付電源直結ユニット (OP-VMU01) の接続方法	38
電源 ON ～ OFF までの手順	41
1. 電源 ON (録画を開始する)	41
2. 録画を停止する	42
3. SD カードをフォーマットする	42
4. レーンキープアシストと 前方衝突防止アラートの設定を行う	43
5. 録画を再開する	45
6. ワンタッチ記録をする	45
7. 電源 OFF (録画を停止する)	45

カスタマイズして使う

設定メニューの表示方法	46
1. 設定メニューを表示する	46
2. 録画を再開する	46
設定メニュー	47
G センサー感度	49
1. G センサー感度を変更する	49
録画ファイルの保護について	50
1. 録画ファイルを保護する	50
2. 録画ファイルを保護解除する	52
3. 録画を再開する	53
録画ファイルの削除について	54
1. 録画ファイルを削除する	54
2. 録画を再開する	55

再生する

録画ファイルの読み出しについて	56
1. SD カードを直接パソコンと接続する	57
専用ビューアソフトで再生する	58
1. 準備する	58
2. 専用ビューアソフトを起動する	58
3. 録画ファイルを再生する	58
4. 専用ビューアソフトを終了する	59

専用ビューアソフト	60
1. 専用ビューアソフトの画面について	60
2. 専用ビューアソフトをアンインストールする	62
再生モード	63
再生モードの表示・再生方法	65
1. 再生モードを表示する	65
2. 本機で録画ファイルを再生する	65
3. 再生中の録画ファイルを一時停止する	66
4. 録画を再開する	67

その他

故障かな?と思ったら	68
エラー表示一覧	71
仕様	73
microSD カード対応一覧表	74
1. 録画時間の目安	74
2. イベント記録の最大記録件数	74
アフターサービス	75
1. お客様ご相談センター	75
2. 付属品・別売品の購入について	75
保証書	裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

- 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

- ⚠ **危険**：「死亡または重傷を負う恐れが大きい」内容です。
- ⚠ **警告**：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。
- ⚠ **注意**：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

●安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

- ⚠ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

＜異常な状態の例＞

- ・内部に異物が入った
- ・水に浸かった
- ・煙が出ている
- ・変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

● P.75「アフターサービス」

- ⚠ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**
- ⚠ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**
- ⚠ **本機を長時間使用しない場合、本体から電源コードを外してください。**
車両バッテリーの放電や火災の原因となります。

絵表示について

- ⓘ 必ず実行していただく「強制」内容です。
- ⊘ してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
- 👉 関連するページを示します。

- ⊘ **サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



- ⊘ **本機を次のような場所に保管しないでください。**

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

- ⊘ **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

- ⊘ **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。



- ⊘ **病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。**

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

- ⊘ **本機を可燃性ガスの多い環境では使用しないでください。**

爆発や火災の原因となります。

⚠ 注意

- ⊘ **結露したまま使い続けしないでください。**
故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

- ⊘ **落としたり、強いショックを与えないでください。**

破損、故障の原因となります。

- ⊘ **各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。**

故障の原因となります。

- ⚠ **SD カードおよびその他の付属品は、子供の手の届かない場所に保管してください。**

誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

- ⊘ **濡れた手で操作しないでください。**
感電の原因となります。



- ⊘ **本体の近くに磁石などの磁気を帯びた素材を置かないでください。**

故障の原因となります。

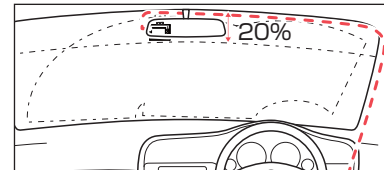
- ⚠ **本機は精密機械です。**

静電気 / 電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

●取り付けについて

⚠ 警告

- ⚠ **取り付けは、フロントガラスの上部20%の範囲内に取り付けてください。**

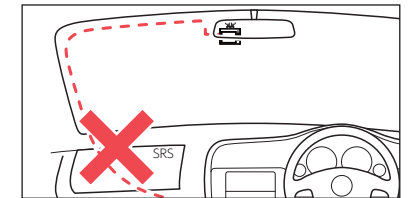


- ⚠ **取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。**

誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

- ⚠ **エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。**

万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注意

- ❗ **取り付けは確実に行ってください。**
また定期的に点検を行ってください。
本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。
- ❗ **突起部分などにご注意ください。**
取り付けや取り外しの際、突起部分などでケガをする恐れがあります。
- ❗ **接続部は確実に奥まで差し込んでください。**
動作しない、火災や感電、故障の原因となります。

●電源コードについて

⚠ 警告

- ❗ **電源コードは確実に差し込んでください。**
接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ **お手入れの際は、電源コードを抜いてください。**
感電の原因となります。
- ❗ **シガーライターソケットは単独で使ってください。**
タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。
- ❗ **シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。**
接触不良を起こして火災の原因となります。
- ❗ **指定以外のヒューズは使用しないでください。**
指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。
- ❗ **指定された電源電圧車以外では使用しないでください。**
火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。
- ❗ **コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。**
故障や感電の原因となります。

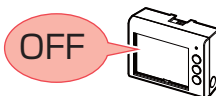
⚠ 注意

- ❗ **エンジンを OFF してもシガーライターソケットに常時電源が供給される車種の場合、ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。**
- ❗ **シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。**
コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずコードを持たずに抜いてください。

●SD カードについて

⚠ 警告

- ❗ **SD カードの出し入れは、本機の電源が ON になっていないことを確認して行ってください。**



- ❗ **SD カードは一方にしか入りません。**
挿入方向をよくお確かめのうえ、挿入してください。
無理に押し込むと、本機が壊れることがあります。

●本機の操作・運転について

⚠ 警告

- ❗ **走行中は運転者による操作、画面の注視をしないでください。**
このような行為は道路交通法第 71 条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に停車してから操作してください。交通事故やけがの原因となります。
- ❗ **ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作してください。**
- ❗ **海外ではご使用にならないでください。**
本機は日本国内仕様です。
- ❗ **運転者は走行中に操作しないでください。**
走行中の操作は前方不注意による事故の原因となります。必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態で操作してください。
- ❗ **急発進したり急ブレーキをかけないでください。**
安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

●本機のお手入れについて

⚠ 注意

- ❗ **カメラのレンズが汚れている場合は、やわらかい布などに水を含ませて、軽く拭いてください。**
乾いた布などでぶくとキズの原因となります。
- ❗ **本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。**
内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
- ❗ **ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。**
塗装面を傷めます。



使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。

- ・ 自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・ 本製品の取り付けによる車両の変色・変形(跡が残る)に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 録画についての注意

- ・ 本機は連続で映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- ・ 本機は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- ・ 本機の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害については、当社は一切その責任を負いません。
- ・ 本機で録画した映像は、使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、当社は一切責任を負いません。
- ・ 本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対におやめください。
- ・ LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害については当社は一切責任を負いません。
- ・ Active Safety 機能を正常に機能させたり、映像を正常に録画するため、カメラのレンズや車両のフロントガラスは常に清潔にしてください。
- ・ 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- ・ 運転者は走行中に電源ランプ等を注視したり、操作しないでください。ワンタッチ記録(手動録画)するときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。
- ・ 事故発生時は、録画ファイルが書ききれないように必ず SD カードを保管してください。
- ・ 本機は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取り扱いをすると、データが破損する恐れがあります。
 - ※ 本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
 - ※ 水に濡らしたり、強い衝撃を与えた場合。
 - ※ 長期間使用しなかった場合。
 - ※ パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。

■ シガープラグコードに関する注意

- ・ シガープラグコードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・ シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ 電源直結コードに関する注意

- ・ 電源直結コードは、必ず付属品をご使用ください。
- ・ 電源直結コードのヒューズが切れた場合は、市販品の新しいヒューズ(2A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、すぐに使用を中止して、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。
- ・ ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

■ 取り付けに関する注意

- ・ 本機は取扱説明書に従って正しく取り付けてください。誤った取り付けは、道路運送車両法違反となるばかりか、交通事故やケガの原因となります。
- ・ 本機の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤動作を起こす可能性があります。
- ・ 本機の周囲に他の物を配置しないでください。映像に映り込む可能性があります。
- ・ テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。
- ・ 本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

■ SD カードに関する注意

- ・ SD カードリーダーライターは、使用の SD カード容量に応じたものを使用してください。容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用すると、データの破損等により、読み込みや書き込みが、できなくなる可能性があります。
- ・ SD カードの取り出しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。本機の動作中に SD カードの取り出しや挿入を行うと、SD カードの破損やデータの消失など、誤動作を起こす場合があります。
- ・ SD カードは NAND 型フラッシュメモリとコントローラから構成されており、不良セクタが発生する場合があります。不良セクタにはデータが書き込まれませんが、データの記録が繰り返されると、不良セクタの位置が判断できなくなり、見かけ上の記録可能領域が減少します。不良セクタを修復し安定してご使用いただくため、1～2 週間に一度、フォーマットを行うことをお勧めします。
- ・ SD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長期間ご使用になると、不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合や SD カードエラーになり使用できない場合があります。
- ・ SD カードの消耗に起因する故障または損傷については、当社は一切の責任を負いません。
- ・ 重要な記録データは、パソコンに保存や DVD など別媒体での保管をお勧めします。
- ・ SD カードは必ず本機でフォーマットしてから使用してください。
- ・ 本機をご使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証について、当社は一切その責任を負いません。

■ GPS 測位に関する注意

- ・ 本機を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで 20 分以上時間がかかる場合があります。
- ・ フロントガラスをメタリックフィルム等で着色している場合、GPS を測位できない場合があります。
- ・ 走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPS の電波のみで計測しています。測位状況によって、実際とは異なる場合があります。

■ 液晶パネルに関する注意

- ・ 表示部を強く押ししたり、爪やボールペンなどの先の尖ったもので操作をしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・ 表示部を金属などで擦ったり引っ掻いたりしないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・ サンングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ 周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。
- ・ 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。
- ・ 太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが、故障ではありません。

■ 撮影された映像について

- ・ 本機は広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや、影が生じることがあります。これは、広角レンズの特性であり、異常ではありません。

■ 他社製品との組み合わせに関する注意

- ・ 他社製品との組み合わせについては、動作検証等を行っておりませんのでその動作については保障することができません。あらかじめご了承ください。

■ 保証に関する注意

- ・ 本製品にはお買い上げから 1 年間の保証がついています。(ただし、電源コード、microSD カードならびに、消耗品は保証の対象となりません。)

もしも事故が起きたら・・・

事故発生時は記録された録画ファイルが上書きされないように、必ずSDカードを取り外して安全な場所に保管してください。

※事故発生時の参考資料として使用することができます。事故の証拠として、効力を保証するものではありません。

SDカードの保管

・保管場所について…

SDカードは精密な電子部品で構成されており下図のような場所でお取り扱い、保管をすると、録画ファイルが破損する恐れがあります。



〈静電気・ノイズ〉



〈水・湿気〉



〈衝撃・曲げ・折り〉



〈腐食性ガス〉

こんなときに録画ファイルが役立ちます

例 赤信号を無視して交差点に入ってきた車両との側面衝突事故で、加害車両のドライバーは進行方向の信号は青で、事故原因は「あなた」が信号無視したからだと主張した場合。

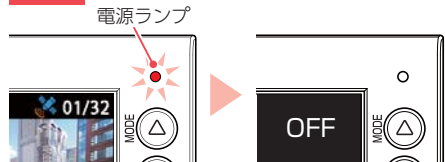


・信号の色などが記録されていれば事故の参考資料になり、早期解決につながります。

■ 付属品シガープラグコードまたは電源直結コード接続時

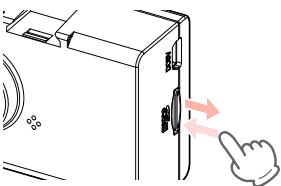
付属品のシガープラグコードや電源直結コードを接続した状態で事故が起きた場合のSDカード保管方法。

1 車両のエンジンを OFF する



電源 OFF 後、電源ランプが 3 秒以上消灯したことを確認してください。

2 SD カードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

3 SD カードを保管する

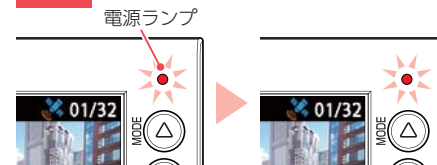
■ 別売品のマルチバッテリーまたは電圧監視機能付電源直結ユニット接続時

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付電源直結ユニットを接続した状態で走行時または駐車時に事故が起きた場合のSDカード保管方法。

走行時に事故が起きた場合

駐車時に事故が起きた場合

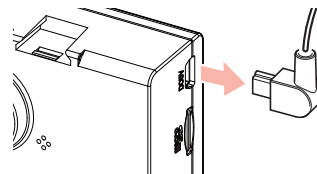
1 車両のエンジンを OFF する



駐車記録を行います。

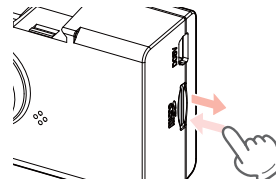
※別売品の設定によっては電源 OFF します。

2 本機の DC ジャックから電源コードを取り外す



電源 OFF 後、電源ランプが 3 秒以上消灯したことを確認してください。

3 SD カードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



※SDカードが飛び出した際の紛失にご注意ください。

※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SDカードは小さいため、車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

4 SD カードを保管する

バックアップ機能について

重大事故などで急に電源が断たれた場合、バックアップ機能により、現在記録中の映像の破損を防いで保存します。

SDカードをフォーマットする

必ず1~2週間に一度、本機でSDカードをフォーマットしてください。
定期的にフォーマットをしないと、エラーの原因になります。

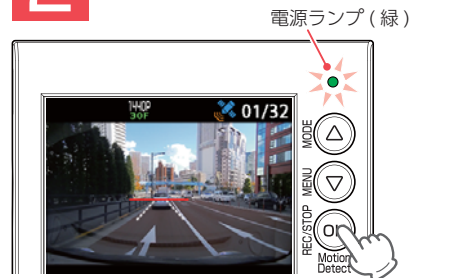
※フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

SDカードフォーマットの手順

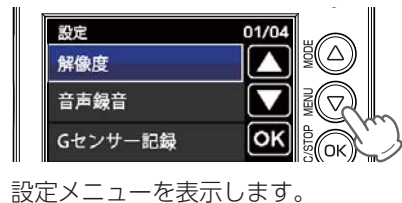
1 車両のエンジンをONする



2 OK ボタンを押す



3 ▽ボタンを押す



4 △ボタンを数回押し、「SD 初期化」を選択し OK ボタンを押す

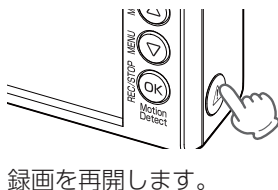


5 ▽ボタンを押して「実行」を選択し、OK ボタンを押す



「SD カードの初期化が完了しました」と数秒表示し、自動的に設定メニューを表示します。

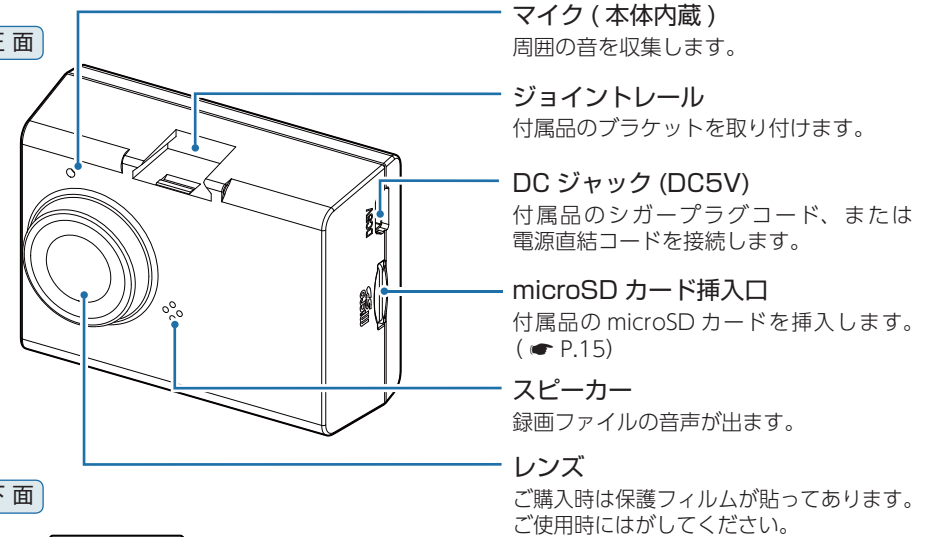
6 REC ボタンを押す



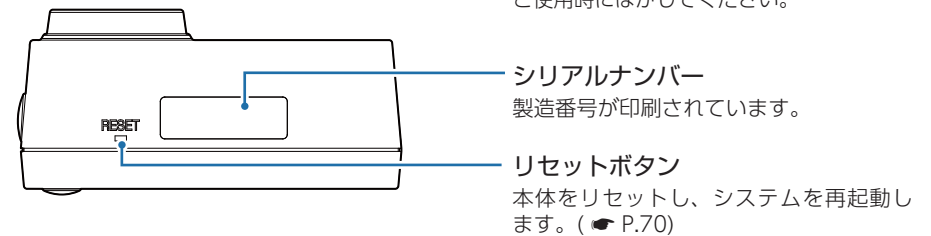
各部の名称と働き

■ 本体

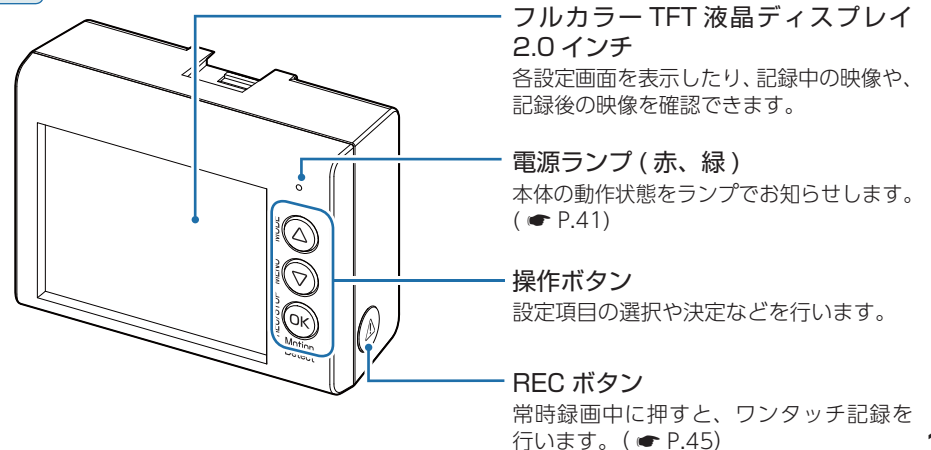
正面



下面



背面



1. 付属品

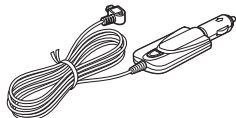
ご使用前に付属品をお確かめください。

■ ブラケット …………… 1 ■ 取扱説明書・保証書(本書) …… 1

■ microSD カード(16GB)………… 1
(本機にあらかじめ装着されています。)

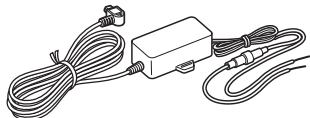
< DRY-ST7000c >

■ 5V コンバーター付シガープラグ
コード(約 4 m) …………… 1



< DRY-ST7000d >

■ 5V コンバーター付電源直結コード
(約 4 m) …………… 1



・本機には、お買い上げの日から 1 年間の製品保証がついています。
ただし、microSD カード、両面テープなどの消耗品は保証の対象となりません。
・本機の故障による代替品の貸出は当社では一切行っておりません。

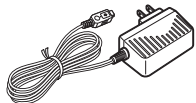
・microSD カードは消耗品であり、定期的に新品に交換することをお勧めします。
microSD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

2. 別売品

■ 電圧監視機能付電源直結ユニット^{※1}
(OP-VMU01) 本体 6,000 円 + 税
車両バッテリーに繋げて駐車記録を行
う、オフタイマー設定・車両バッテリー
電圧監視機能付きの電源ユニットです。

本体…………… 1
入力コード…………… 1
両面テープ…………… 1

■ AC アダプター OP-E368
本体 3,000 円 + 税
ご家庭で使うことができます。



付属品・別売品の追加購入につきましては、
P.75 を参照ください。

■ マルチバッテリー OP-MB4000^{※1}
(12V 車専用) 本体 23,000 円 + 税
エンジンを OFF にすると、走行中に充
電されたマルチバッテリーからの電源
供給により、駐車記録を行います。車
両バッテリーからの電源供給と違い、
バッテリー上がりの心配がありません。
(最大約 12 時間)

本体…………… 1
入力コード…………… 1
出力コード…………… 1
面ファスナー…………… 1

< DRY-ST7000c >

■ 5V コンバーター付電源直結コード(約 4m)
OP-E755 本体 2,000 円 + 税
シガーライターソケットを使わずに、
車内アクセサリ系端子から直接電源
を取ることができます。

SD カードの取り外し / 装着

本書では、特にことわりのない場合、「microSD カード」を「SD カード」と表記
しています。

※本機と付属品以外の microSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。
※本機は、8GB 以上、32GB 以下の microSDHC カードに対応しています。(SD スピードクラス
「Class10」以上)

⚠ 注意

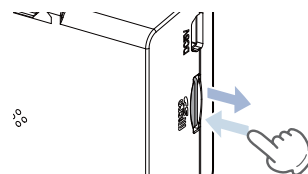
- ・SD カードは一方にしか入りません。SD カードを下図のように挿入してください。
- ! 無理に押し込むと、本体が壊れることがあります。
- ・付属品以外の SD カードは、必ず本機でフォーマットしてから使用してください。

1. SD カードを本体から取り外す

1-1 車両のエンジンを OFF する

電源 OFF 後、電源ランプが 3 秒以上消灯したのを確認してください。

1-2 SD カードを押し込み、少し飛び出してから引き抜く



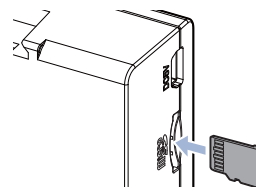
※SD カードが飛び出した際の紛失にご注意ください。
※取り出す際に手から落とさないように注意してください。SD カードは小さいため、
車内で落とすとシートの隙間などに入り込む可能性があります。

2. SD カードを本体へ装着する

2-1 車両のエンジンを OFF する

電源 OFF 後、電源ランプが 3 秒以上消灯したのを確認してください。

2-2 SD カードを挿入する

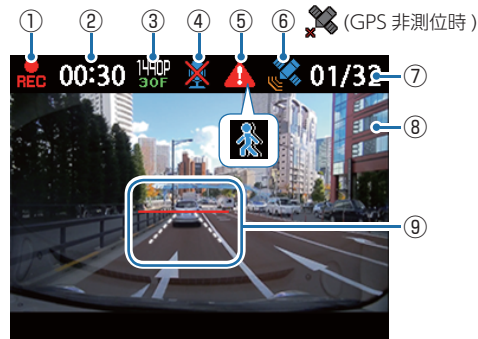


SD カード挿入口に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。

別売品のマルチバッテリーや電圧監視機能付電源直結ユニットを接続して駐車記録を行って
いる場合は、本体から電源コードを取り外し電源 OFF してください。

動画記録モード

動画記録モードでは、連続して動画を記録します。



＜動画記録モード画面＞

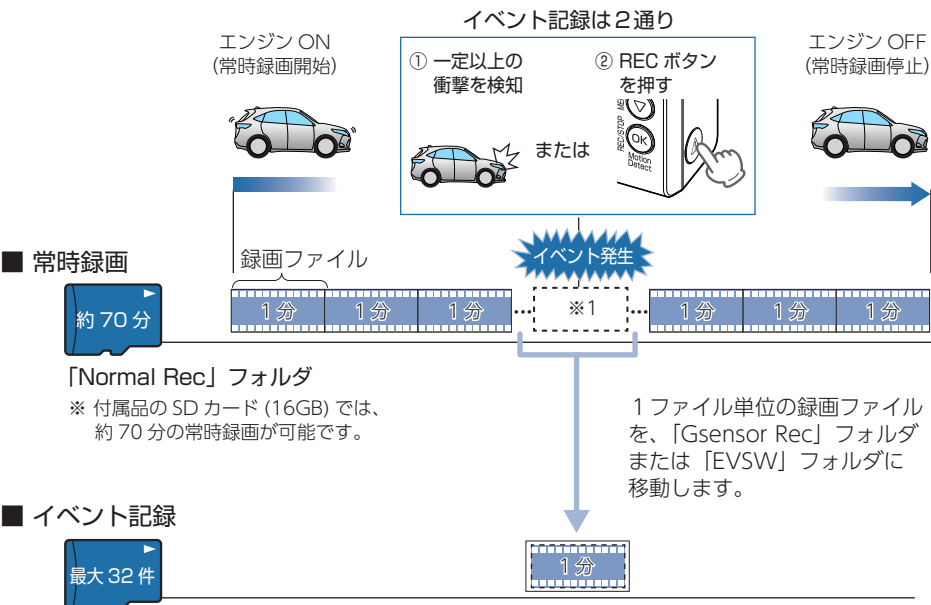
No.	表示名	説明
①	録画アイコン	録画中に表示します。
②	記録時間	録画中に現在の映像の記録時間を表示します。
③	解像度	録画解像度を表示します。(P.47)
④	音声録音 OFF アイコン	音声録音設定が OFF のときに表示します。(P.47)
⑤	イベント記録アイコン	イベント記録中に表示します。
	動体検知アイコン	動体検知機能が ON のときに表示します。(P.23)
⑥	GPS アイコン	GPS の状態をアイコンで表示します。
⑦	イベント記録件数	現在のイベント記録件数 / 最大記録件数を表示します。
⑧	ファインダー	カメラのファインダーです。
⑨	AS 設定ライン	AS 設定ラインを表示します。(P.43) ※解像度が「1080P HD 30FPS」の場合は表示しません。 ※AS 設定ラインは、録画ファイルには録画されません。

■ 動画記録モード時のボタンの機能

ボタン	機能
△	再生モードを表示します。(P.63)
▽	設定メニューを表示します。(P.47)
OK	録画の開始、または停止をします。 録画中に、3 秒以上長押しすると動体検知機能を ON します。(P.23)
REC	常時録画中に押すと、REC ボタンを押した前後の録画ファイルを 1 ファイルとして、ワンタッチ記録フォルダに移動します。(P.19「ワンタッチ記録」)

録画について

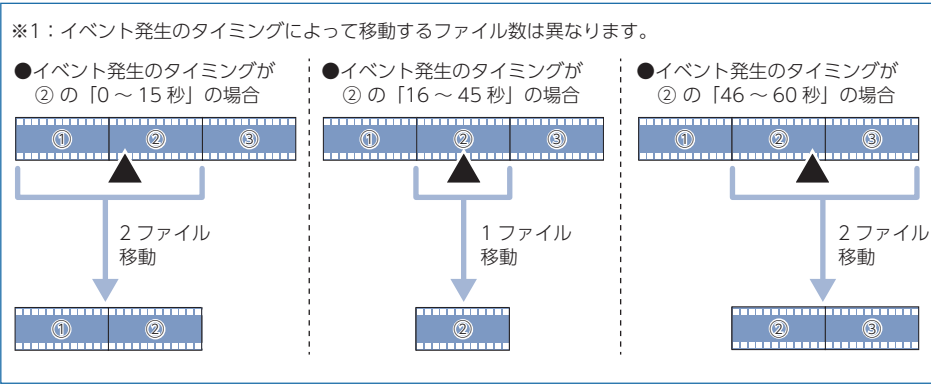
記録方法は、常時録画とイベント記録があります。



「Normal Rec」フォルダ
※ 付属品の SD カード (16GB) では、
約 70 分の常時録画が可能です。

1 ファイル単位の録画ファイルを、「Gsensor Rec」フォルダ
または「EVSW」フォルダに
移動します。

■ イベント記録
最大 32 件
「Gsensor Rec」フォルダ・・・G センサー記録
「EVSW」フォルダ・・・ワンタッチ記録
※ 付属品の SD カード (16GB) では、G センサー記録とワンタッチ記録を合わせて 32 件のイベント
記録が可能です。



- ・お買い上げ時の設定では、SD カード容量がいっぱいになると、常時録画、イベント記録それぞれの保護していない古い録画ファイルから上書きして録画を続けます。設定により上書き時の動作を変更することができます。(☛ P.19「上書きモードについて」)
- ・本体起動直後や録画ファイルの記録直後にボタン操作をすると、記録されないことがあります。
- ・エラーメッセージが表示された場合は、映像を記録することはできません。(☛ P.71「エラー表示一覧」)

1. 常時録画

エンジン始動 (ACC ON) からエンジン停止 (ACC OFF) までの映像を SD カードに常時録画します。常時録画中は、電源ランプ (赤) が点灯します。

- ・録画ファイル構成
1 ファイルあたり約 1 分で生成します。
- ・録画可能時間
初期値 (1440P 30FPS) で、付属品の SD カード (16GB) に約 70 分の常時録画が可能です。SD カードの容量によって録画可能時間は異なります。(☛ P.74)
- ・上書きモード
初期値では「上書きモード」が「全て上書き」のため、70 分以降も上書きして録画します。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.19「上書きモードについて」)

2. イベント記録(G センサー記録とワンタッチ記録)

イベント記録には G センサー記録とワンタッチ記録があります。イベント記録中は、画面上部にイベント記録アイコンを表示し、電源ランプ (赤) の遅点減になります。

⚠ 注意

- ⓘ 常時録画が停止 (上書きモードが「上書き禁止」で常時録画の SD カード容量が上限に達した場合) した場合、イベント記録は移動する録画ファイルがないため、記録件数にかかわらず行うことはできません。(☛ P.19「上書きモードについて」)

- ・録画ファイル構成
常時録画の録画ファイル構成と同様になります。
※ イベント発生タイミングによって移動するファイル数は異なります。(☛ P.17)
- ・最大記録件数
付属品の SD カード (16GB) に、G センサー記録とワンタッチ記録を合わせて 32 件のイベント記録が可能です。SD カードの容量によって最大記録件数は異なります。(☛ P.74)
- ・上書きモード
初期設定では「上書きモード」が「全て上書き」のため、記録件数が 32 件を超えると、古いイベント記録を上書きします。上書き動作は設定によって異なります。(☛ P.19「上書きモードについて」)

■ G センサー記録

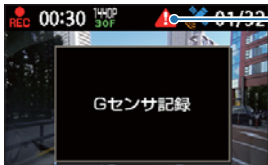
G センサーが一定以上の衝撃を検知すると、録画ファイルを SD カードの「Gsensor Rec」フォルダに移動します。

※ 初期値では「G センサー記録：ON」となります。設定で「OFF」にすることもできます。(☛ P.47「設定メニュー」)

・ G センサー感度

G センサーの感度を設定することができます。初期値では、X(前後方向)、Y(左右方向)、Z(上下方向)の数値は全て「1.0G」となります。(☛ P.47「設定メニュー」)

一定以上の衝撃を検知

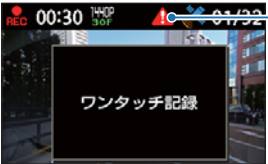
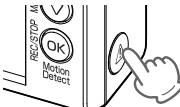


イベント記録アイコン

■ ワンタッチ記録(手動録画)

常時録画中に REC ボタンを押すと、録画ファイルを SD カードの「EVSW」フォルダに移動します。

REC ボタンを押す



イベント記録アイコン

⚠ 注意

- ⓘ ワンタッチ記録をするときは、周囲の安全を十分に確認したうえで素早く操作を行ってください。

3. 上書きモードについて

上限に達した場合の動作を下記から選択できます。(☛ P.47「設定メニュー」)

上書きモード		上限に達した場合の動作	
		常時録画	イベント記録
上書き禁止	全ての録画ファイルは上書きされません。	録画の停止	録画の停止
常時録画上書き※1	保護していない常時録画ファイルのみ上書きします。	上書きして録画を継続	録画の停止
全て上書き※1 (初期値)	保護していない録画ファイルを上書きします。	上書きして録画を継続	上書きして録画を継続

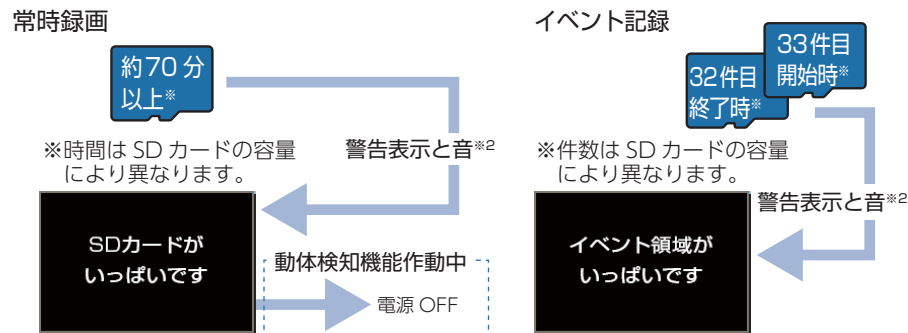
※1：保護したファイル (☛ P.50) は、上書きされません。
保護したファイルを削除する場合は、ファイルの保護を解除 (☛ P.52) してから削除 (☛ P.54) するか、SD カードをフォーマットしてください。(☛ P.12)

■上書き禁止

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達すると、その記録方法での録画を停止します。また動体検知機能が作動中の場合、上限に達すると自動的に電源 OFF します。

例①：イベント記録が最大記録件数に達すると、イベント記録は停止しますが、常時録画が上限に達していなければ、常時録画を続けます。

例②：常時録画が SD カード容量の上限に達すると、常時録画が停止します。さらに、イベント記録は移動する録画ファイルがないため、記録件数にかかわらず行うことはできません。

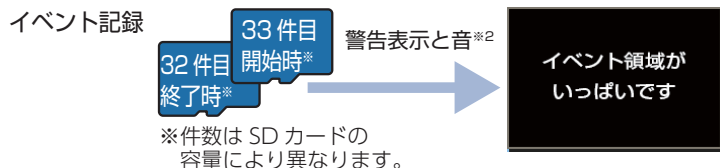


※2：音は警告表示の開始時に数秒間鳴ります。音量を「OFF」に設定している場合は、音は鳴りません。

■常時録画上書き※1

常時録画は、SD カード容量の上限に達すると、保護していない古い常時録画ファイルを上書きし録画を続けます。

イベント記録は、最大記録件数に達した時点で、記録を停止します。



※2：音は警告表示の開始時に数秒間鳴ります。音量を「OFF」に設定している場合は、音は鳴りません。

■全て上書き(初期値)※1

常時録画とイベント記録がそれぞれ上限に達した場合、各記録方法の保護していない古い録画ファイルを上書きし、録画を続けます。

※1：保護したファイル (● P.50) は、上書きされません。保護したファイルを削除する場合は、ファイルの保護を解除 (● P.52) してから削除 (● P.54) するか、SD カードをフォーマットしてください。 (● P.12)

Active Safety(アクティブ セーフティ)機能について

Active Safety 機能は、運転者の判断を補助し、運転負荷の軽減を目的としています。事故を未然に防ぐものではありません。

※解像度が「1440P 30FPS」設定時のみ有効になります。(● P.47)

※動体検知機能が ON の場合、Active Safety 機能は無効になります。

※Active Safety 機能は、動画記録モード時 (画面 OFF 時も含めた録画中と録画停止中) にお知らせを行います。再生モード時や設定メニュー時は、お知らせを行いません。

※Active Safety 機能の画面表示は、録画ファイルには録画されません。

音は、「音量：20～100%、音声録音：ON」設定時に音声として録画ファイルに録画されます。

⚠ 注意

- Active Safety 機能を過信しないでください。あらゆる走行状況を判断してお知らせすることはできません。運転者の前方不注意や視界不良での運転動作を補助することはできません。
- 運転時は、先行車との距離や周囲の状況、運転環境に注意し、常に安全運転を心がけてください。

1. Start information(スタート インフォメーション)

信号待ちなどで停止している状態で、先行車が発進しても自車が止まったままの場合や渋滞中に自車が先行車により近づいた場合に表示と音でお知らせします。

※設定で Start information の ON/OFF を変更できます。(● P.47 初期値：ON)

・信号待ちなどで、先行車のうしろで自車が停止した状態



・先行車が発進し、自車が停止した状態



画面表示と音でお知らせ

『ポロロン』という音が鳴り、下記の画面を約 5 秒間表示します。



※音量を OFF にした場合は、音は鳴りません。表示のみのお知らせとなります。

先行車との距離や周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。

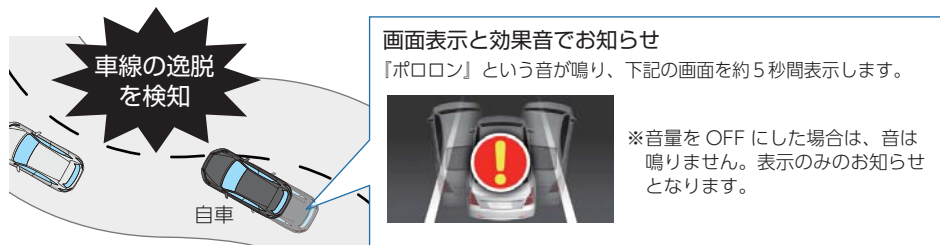
※前方の車両を認識してお知らせを行います。先行車を認識できない位置に本機を取り付けると、うまく働かない場合があります。(● P.30)

2. レーンキープアシスト

走行中に自車の車線逸脱（走行車線からはみ出し）を検知すると、表示と音でお知らせします。

※レーンキープアシストを使用する場合、設定が必要です。（☛ P.43）

※設定でレーンキープアシストの ON/OFF を変更できます。（☛ P.47 初期値：ON）



- ・GPS を測位した状態で機能します。GPS 測位ができない場合は、機能しません。
- ・車両速度が時速 60km 以上の場合に動作します。
- ・車線の種類、車線幅や周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。
※白色または黄色の直線や破線以外の形状の車線は認識できない場合があります。
※積雪などで車線を検知できない場合は機能しません。
- ・車両のウインカーと連動していないため、車線変更時にもお知らせを行います。

3. 前方衝突防止アラート

走行中に先行車と接近しすぎた場合に、表示と音でお知らせします。

※前方衝突防止アラートを使用する場合、設定が必要です。（☛ P.43）

※設定で前方衝突防止アラートの ON/OFF を変更できます。（☛ P.47 初期値：ON）

- ・先行車と自車が接近



- ・GPS を測位した状態で機能します。GPS 測位ができない場合は、機能しません。
- ・車両速度が時速 60km 以上の場合に動作します。
※GPS データによる車速は、実際の走行速度と最大で 1 秒程度のずれが生じます。衝突の恐れが減少した場合でもお知らせする場合があります。
- ・画像処理によって先行車を検知するため、紛らわしいシルエットを誤認識したり、先行車の形状や車線幅、周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・車線変更時は、先行車を検知しないため、先行車と接近しすぎた場合でも、前方衝突防止アラートは動きません。

動体検知機能 (Motion Detect) について

動体検知機能は、映像の変化から動体を検知し動きがあった場合に常時録画を開始します。作動中は、各ボタン操作を行うことはできません。また、イベント記録や Active Safety 機能は行いませんのであらかじめご了承ください。

1 分間映像に動きがなかった場合、自動で画面と電源ランプが OFF になり、常時録画を停止するため別売品のマルチバッテリー (OP-MB4000) や電圧監視機能付電源直結ユニット (OP-VMU01) を接続して駐車記録を行う場合に使用することをお勧めします。（☛ P.24）

※初期値は、「OFF」です。

※動体検知機能は電源 OFF すると初期値（「OFF」）に戻ります。

動体検知機能を ON する場合は、電源 ON するたびに ☛ P.24「動体検知機能を ON する」を行ってください。

※上書きモードを「上書き禁止」にした場合、動体検知機能が作動中に録画ファイルが SD カード容量の上限に達すると「SD カードがいっぱいです」と表示し自動的に電源 OFF します。動体検知機能を使用する場合は、上書きモードを「上書き禁止」以外に設定することをお勧めします。（☛ P.47）

検出範囲



検出範囲

本体（カメラ）から見て
角度：水平 120°（①）、距離：3m（②）

映像の変化から動体を検知するため、検出範囲内であっても周囲の状況、気象条件等によって、うまく働かない場合があります。あらかじめご了承ください。

動体検知機能の動作



1 分間映像に動きなし

画面 OFF

約 5 秒間、上記の画面を表示し常時録画を開始します。

自動で画面と電源ランプが OFF になり常時録画を停止します。

映像の動きを検知

各ボタンを押す



または



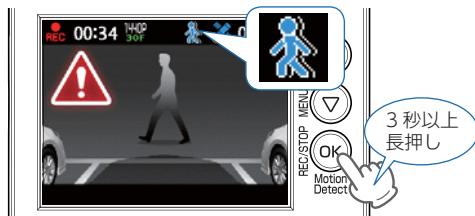
1. 動体検知機能を ON する

1-1 車両のエンジンを ON する



電源ランプ(赤)と録画アイコンが点灯し、録画を開始します。

1-2 常時録画中に OK ボタンを 3 秒以上長押しする



・駐車記録を行う場合・・・
車両のエンジンを OFF する前に  アイコンが表示されていることを確認してください。

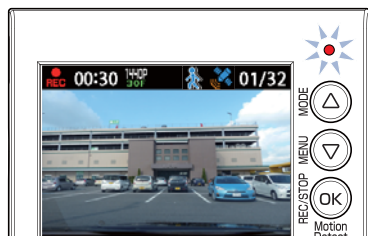
約 5 秒間上記の画面を表示し、動体検知機能を ON します。
作動中は  アイコンを表示します。

※録画停止中、またはイベント記録中に OK ボタンを 3 秒以上長押ししても動体検知機能は ON しません。常時録画中に行ってください。

※1 分間映像に動きがなかった場合、自動で画面と電源ランプが OFF になり常時録画を停止します。映像に動きがあった場合、または各ボタンを押すと画面が表示され常時録画を開始します。

2. 駐車記録をする

2-1 車両のエンジンを OFF する



録画は継続し、駐車記録を開始します。

■オフタイマー設定時間^{※1}、または検出電圧設定内^{※2}にエンジン ON



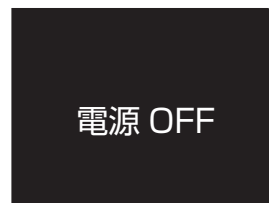
「3. 動体検知機能を OFF する」からお進みください。

動体検知機能 ON で録画を継続します。

※1: マルチバッテリー (OP-MB4000) または電圧監視機能付電源直結ユニット (OP-VMU01) で接続した場合。

※2: 電圧監視機能付電源直結ユニット (OP-VMU01) で接続した場合。

■オフタイマー設定時間^{※1}になる、または検出電圧設定以下^{※2}になる



エンジン ON



電源 OFF になります。

動体検知機能 OFF で録画を開始します。

「4. 録画ファイルを確認する」からお進みください。(P.26)

※1: マルチバッテリー (OP-MB4000) または電圧監視機能付電源直結ユニット (OP-VMU01) で接続した場合。

※2: 電圧監視機能付電源直結ユニット (OP-VMU01) で接続した場合。

3. 動体検知機能を OFF する

3-1 常時録画中に OK ボタンを 3 秒以上長押しする

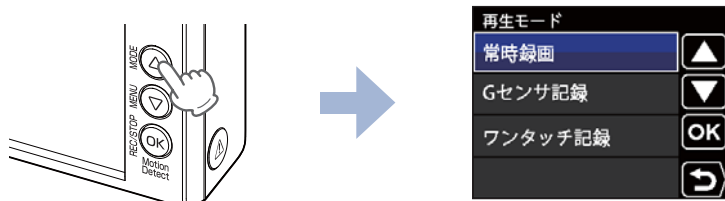


 アイコンが消灯し、動体検知機能を OFF します。

※画面 OFF 中に OK ボタンを 3 秒以上長押ししても動体検知機能は OFF しません。
各ボタンを押して画面を表示してから行ってください。

4. 録画ファイルを確認する

4-1 △ボタンを押し、再生モードを表示する

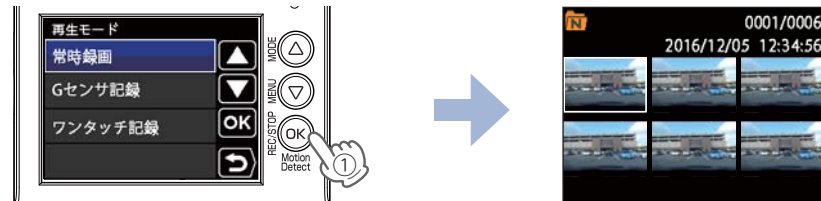


再生モードのフォルダ選択画面を表示します。

※動体検知機能がONの場合は、フォルダ選択画面を表示できません。

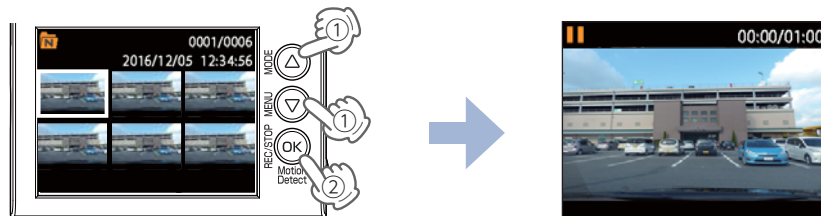
※駐車記録中の録画ファイルは「常時録画」に記録されます。

4-2 OKボタンを押し、常時録画を選択する



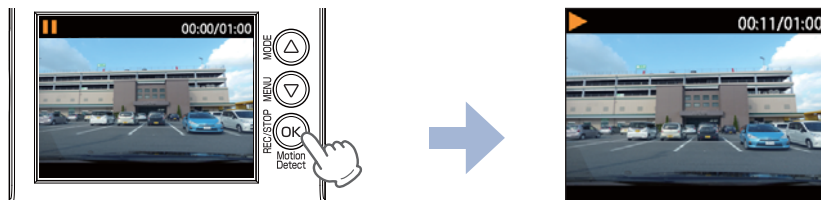
ファイル選択画面を表示します。

4-3 △▽ボタンを押して、録画ファイルを選択し、OKボタンを押す



駐車中の録画ファイルを選択します。

4-4 OKボタンを押す



録画ファイルを再生します。

録画ファイルが複数ある場合は、連続して再生します。

メンテナンスについて

本機は、定期的にメンテナンスを行っていただくことをお勧めします。

■ 1～2週間に一度のメンテナンス

⚠ 注意

❗ 必ず1～2週間に一度、SDカードのフォーマットを行ってください。

・SDカードのフォーマット (☞ P.12)

■ 必要に応じてメンテナンス

・ヒューズの交換

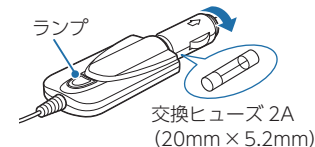
< DRY-ST7000c >

接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない(シガープラグコードのランプが点灯しない)場合は、シガープラグコードのヒューズ(2A)が切れている可能性があります。

- ① シガープラグコードが奥まで差し込まれていることを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、シガープラグ内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

シガープラグの先端を、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、シガープラグの先端を図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



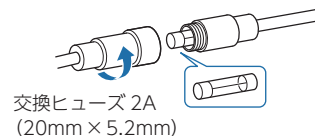
< DRY-ST7000d >

接続状態でエンジンをかけても電源ONにならない場合は、電源直結コードのヒューズ(2A)が切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、電源直結コードのヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。

ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。

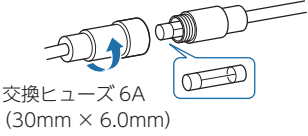


<マルチバッテリー(OP-MB4000)>

接続状態でエンジンをかけても電源 ON にならない場合は、入力コードのヒューズ (6A) が切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、入力コードのヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



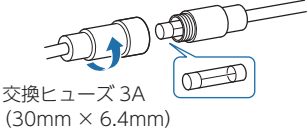
交換ヒューズ 6A
(30mm x 6.0mm)

<電圧監視機能付電源直結ユニット(OP-VMU01)>

接続状態でエンジンをかけても電源 ON にならない場合は、入力コードのヒューズ (3A) が切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、入力コードのヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



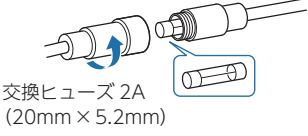
交換ヒューズ 3A
(30mm x 6.4mm)

<別売品 5V コンバータ付電源直結コード(OP-E755)>

接続状態でエンジンをかけても電源 ON にならない場合は、電源直結コードのヒューズ (2A) が切れている可能性があります。

- ① 接続コード類が外れていないかを確認してください。
- ② 下記の手順でヒューズを取り出し、電源直結コードのヒューズホルダー内のヒューズが切れていないかを確認してください。
- ③ ヒューズが切れている場合は、市販品のヒューズと交換してください。

ヒューズホルダーを、図の矢印の方向に回し、ヒューズを取り出す。
ヒューズを交換したあとは、ヒューズホルダーを図の矢印と逆方向に回し、しっかりと締める。



交換ヒューズ 2A
(20mm x 5.2mm)

初期値について

本機の初期値は、下記の表のとおりです。

設定項目	初期値	説 明
解像度	1440P 30FPS	2560 × 1440、30 コマ / 秒で録画します。
音声録音	ON	動画と同時に音声を録音します。
G センサー記録	ON	一定以上の衝撃を検知すると、G センサー記録を行います。(P.19「G センサー記録」)
G センサー感度 (X)	1.0G	X(前後方向)の衝撃感度を 1.0G に設定しています。
G センサー感度 (Y)	1.0G	Y(左右方向)の衝撃感度を 1.0G に設定しています。
G センサー感度 (Z)	1.0G	Z(上下方向)の衝撃感度を 1.0G に設定しています。
レーンキープアシスト	ON	走行中に自車の車線逸脱(走行車線からはみ出し)を検知すると、表示と音でお知らせします。(P.22「レーンキープアシスト」)
前方衝突防止アラート	ON	走行中に先行車と接近しすぎた場合に、表示と音でお知らせします。(P.22「前方衝突防止アラート」)
Start information	ON	信号待ちなどで停止している状態で、先行車が発進しても自車が止まったままの場合、表示と音でお知らせします。(P.21「Start information」)
上書きモード	全て上書き	常時録画・・・ SD カード容量の上限に達した場合、古い録画ファイルを上書きします。(P.74「録画時間の目安」) イベント記録・・・ 最大記録件数に達した場合、古い録画ファイルを上書きします。(P.18「イベント記録」)
音量	100%	本機の音量を 100%に設定しています。
画面自動オフ	常時 ON	画面は常に ON の状態です。

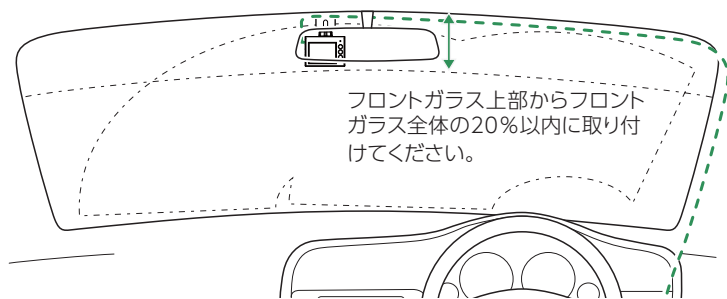
※初期値を変更する場合は、 P.46 ～ 49 を参照ください。

本機の取り付け

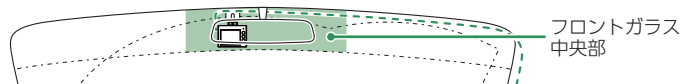
取り付けの注意をご確認いただき、本機を車両に取り付けてください。

取り付けの注意

- ・フロントガラスの上部 20%の範囲内に取り付けてください。
- ・両面テープは所定の位置に、しっかり取り付けてください。
- ・視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ・ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。ワイパーの拭き取り範囲外に取り付けると、降雨時等に、鮮明に記録できない可能性があります。
- ・ルームミラーの操作に干渉しない場所へ取り付けてください。
- ・車検証ステッカー等に重ならないように取り付けてください。
- ・フロントガラス縁の着色部や視界の妨げとなる場所を避けて取り付けてください。
- ・エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- ・本機の周囲に物を配置しないでください。映像が映り込む可能性があります。
- ・衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサー等がルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取り付けてください。
- ・取り付け前に、取り付け位置で電源コードなどが接続でき、ボタン操作がしやすい位置か確認してから行ってください。



■ Start information 使用時の取り付け位置について



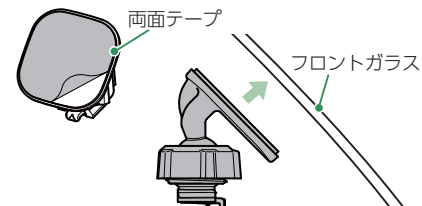
本機は、フロントガラスの中央部に取り付けてください。

※ Start information は、前方の車両を認識してお知らせを行います。前方車両を正しく認識できない位置に本機を取り付けると、Start information がうまく働かない場合があります。

1. 本機を取り付ける

あらかじめ、フロントガラスの汚れ・脂分をよく落とし、慎重に取り付けてください。

1-1 ブラケットの両面テープから保護フィルムをはがし、フロントガラスに取り付ける

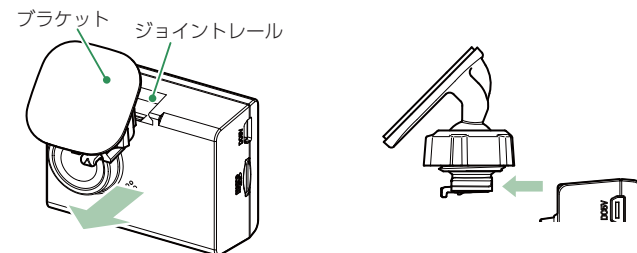


ブラケットに本体を装着したときに、電源コードが接続でき、ボタン操作がしやすい場所に取り付けてください。

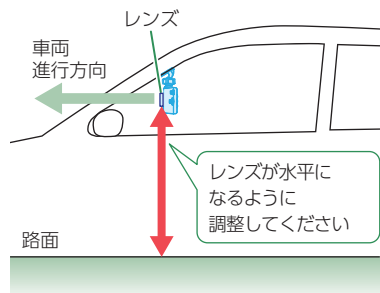
■ はがれの原因になるため下記内容を必ずご確認ください。

- ・フロントガラスの汚れ・脂分を落とすのにパーツクリーナー、ガラスクリーナー等は絶対に使用しないでください。
- ・サンシェード等の日除けを使用する際は、本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープはがれの原因となります。
- ・極端に気温が低い場合、両面テープの粘着が弱くなります。ドライヤーなどで粘着面を暖めてから貼り付けをしてください。
- ・貼りなおしはテープの粘着力を弱め脱落する恐れがあります。
- ・固定力を強くするために本体を取付せず、24 時間以上放置し、両面テープがしっかり貼り付くまで引っ張ったり無理な力をかけないように注意してください。
- ・両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスに貼り付いていないとはがれることがあります。

1-2 ブラケットを本体のジョイントレールに合わせ、矢印の方向にスライドさせて、本体をブラケットに装着する

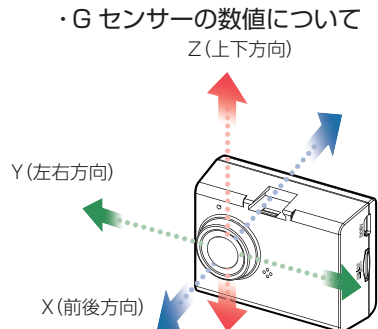


1-3 レンズの向きが車両進行方向と水平になるように調整する



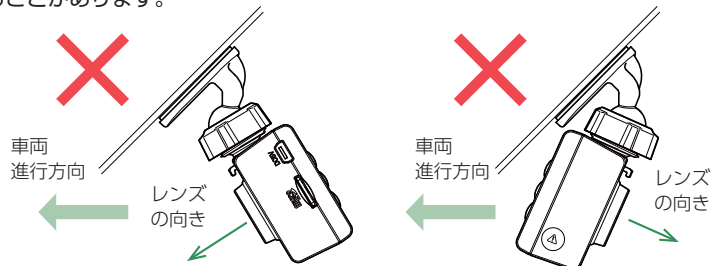
・G センサーの X (前後方向)、Y (左右方向)、Z (上下方向) の数値は、レンズの向きが車両進行方向と水平の状態に固定されています。

※カメラレンズに触れないように調整してください。レンズに触れてしまうと、レンズが曇り、鮮明な映像が撮れなくなる恐れがあります。

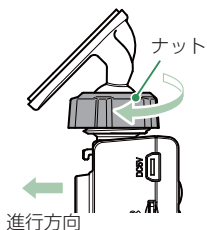


・G センサー記録とは…
P.18「イベント記録」

レンズの向きが車両進行方向と水平でない場合、G センサー記録が誤って動作することがあります。

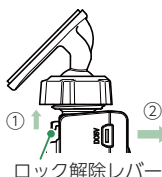


1-4 ナットを締めて固定する



■ 取り外し方法

- ① ロック解除レバーを持ち上げます。
- ② 本体を矢印の方向へスライドさせます。



※確実にナットで固定してください。走行中に落下する恐れがあります。

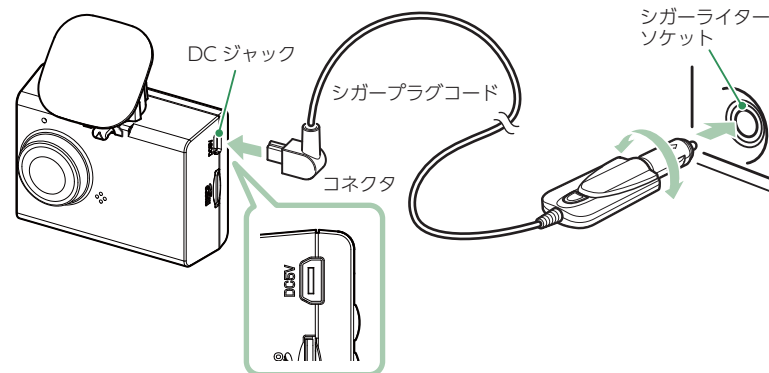
※ナットを締める場合は、本体を回さずにナットを締めてください。ブラケットのジョイント部に無理な力が加わり、破損することがあります。

2. 電源を接続する

別売品の接続方法は P.35「別売品の取り付け」を参照ください。

< DRY-ST7000c >

2-1 シガープラグコードを接続する

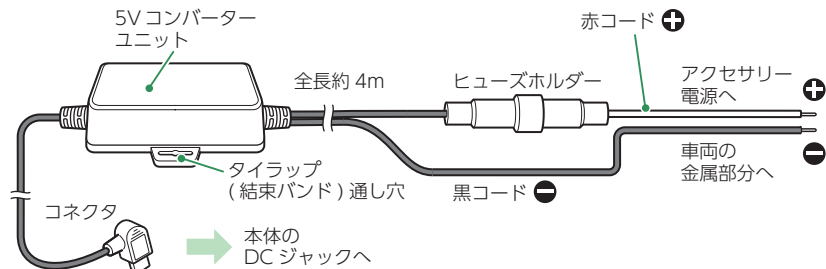


付属品のシガープラグコードを本体の DC ジャックと車両のシガーライターソケットに差し込みます。

※付属品のシガープラグコード、または別売品の AC アダプター、電源直結コード (P.14「別売品」) をご使用ください。

※シガープラグコードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。
うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2-1 電源直結コードを接続する



付属品の電源直結コードを本体の DC ジャックと車両へ接続します。

- ※ 付属品の電源直結コード、または別売品の AC アダプター (P.14 [別売品]) をご使用ください。
- ※ 作業中のショート事故防止のため、車両へ接続するときは、車両のバッテリーのマイナス端子を必ず外してから作業してください。
- ※ 電源は DC12V (マイナスアース) 車専用です。24V 車ではご使用いただけません。
- ※ 電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因になります。
- うまく接続できないときは、接続部分を十分に確認してから接続してください。

2-2 市販品のタイラップ(結束バンド)や両面テープなどを使い、5V コンバーターユニットを固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

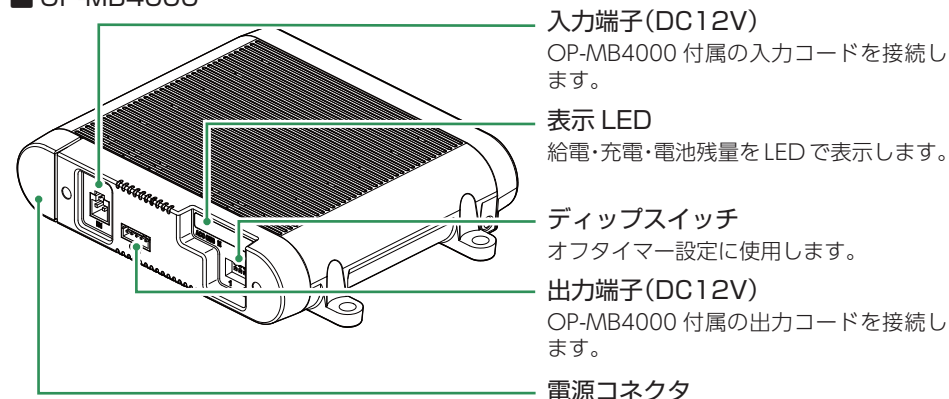
別売品の取り付け

⚠ 注意

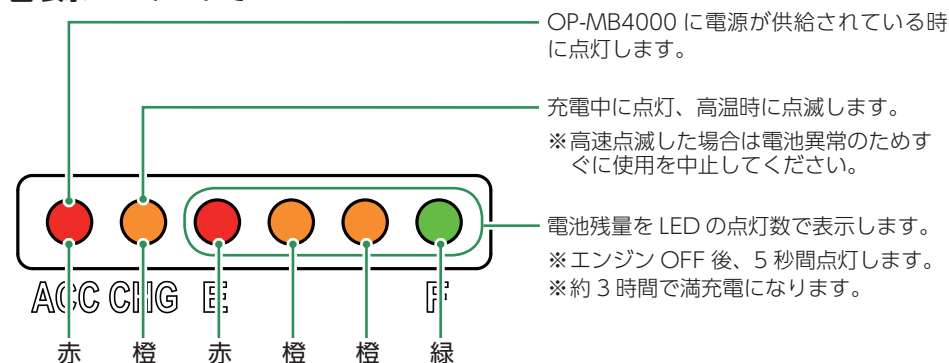
- ・作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車両のバッテリーのマイナス端子を外してください。
- ・カーナビやラジオ、オーディオなどが搭載した車両では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

1. マルチバッテリー(OP-MB4000)の接続方法

■ OP-MB4000



■ 表示 LED について



⚠ 注意

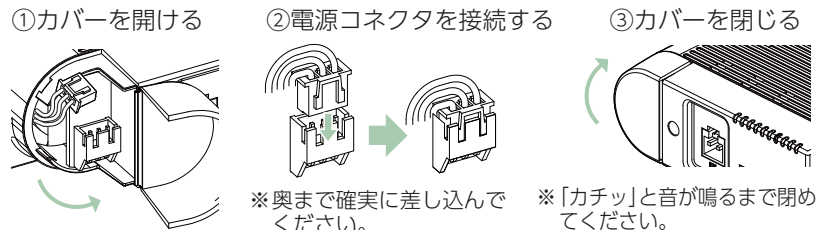
- OP-MB4000 を 3 ヶ月以上使用しない場合は、電源コネクタを外してください。そのまま放置した場合、内蔵電池が完全放電し使用できない状態になることがあります。
- ※ 電源コネクタを外した場合でも接続する機器への電源供給は行えます。

■ OP-MB4000 接続時に必要なもの

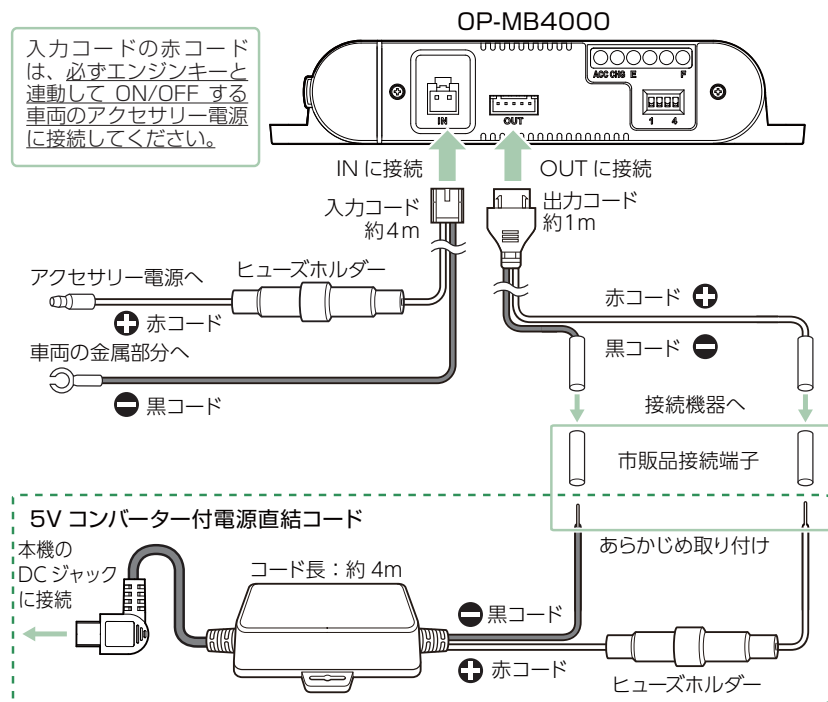
- ① OP-MB4000 ② OP-MB4000 付属入力コード
- ③ OP-MB4000 付属出力コード ④ 5V コンバータ付電源直結コード※¹
- ⑤ 市販品接続端子

※¹： DRY-ST7000c と接続する場合、付属のシガープラグコードは使用せず、別売品の 5V コンバータ付電源直結コード (OP-E755) が必要になります。

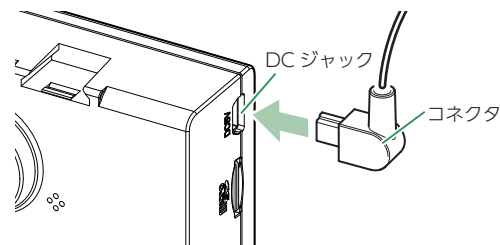
1-1 電源コネクタを接続する



1-2 OP-MB4000 を車両に接続する



1-3 電源直結コードを接続する



付属品の電源直結コードまたは、別売品の電源直結コード (OP-E755) を本体の DC ジャックへ接続します。

※電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

1-4 オフタイマー設定をする

エンジン OFF 後、OP-MB4000 内蔵電池から電源供給する時間を、ディップスイッチで設定 (オフタイマー設定) します。

お買い上げ時 (工場出荷時) のままでは、使用できません。エンジン OFF 時にディップスイッチの操作を行ってください。エンジン ON した際に設定が反映されます。

※ディップスイッチの ON/OFF は、先の細いつまようじなどで行ってください。
※オフタイマー設定に関係なく、OP-MB4000 内蔵電池が少なくなった場合には OP-MB4000 内蔵電池からの電源供給を自動的に停止し駐車記録は行いません。

■ オフタイマー設定



オフタイマー設定について

オフタイマー設定を「使用しない (0 時間)」に設定した場合、駐車記録は行いません。OP-MB4000 の内蔵電池を満充電したい場合や駐車記録を行わない場合などに設定してください。

1-5 OP-MB4000 付属の面ファスナーや市販品のタイラップなどで固定し、配線処理を行う

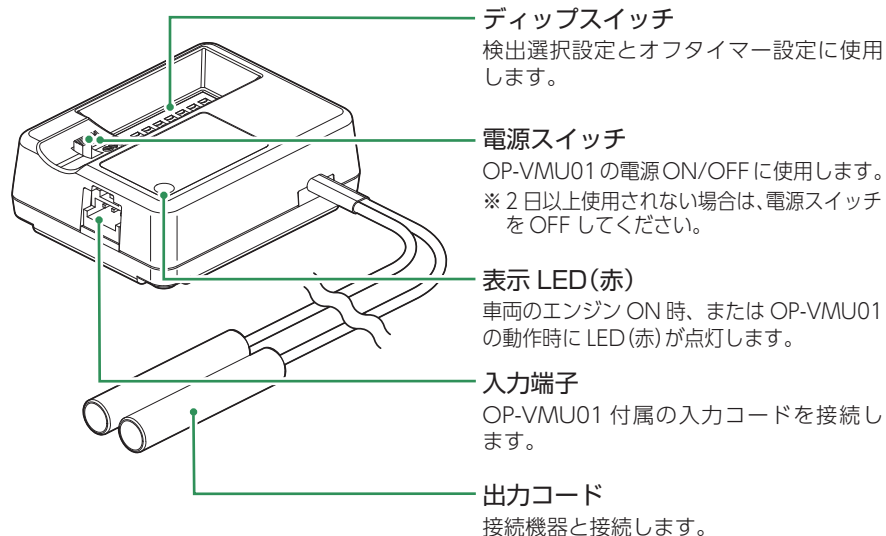
■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・ 運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・ エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・ 直射日光の当たる場所。
- ・ 不安定な場所。
- ・ 配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・ 車両の電装機器（アンテナ等含む）などの近く。
- ・ 水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。
正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

2. 電圧監視機能付電源直結ユニット(OP-VMU01)の接続方法

■ OP-VMU01

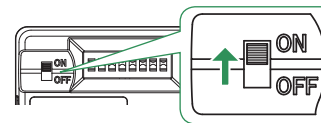


■ OP-VMU01 接続時に必要なもの

- ① OP-VMU01 ② OP-VMU01 付属入力コード ③ 5V コンバータ付電源直結コード※¹
④市販品接続端子

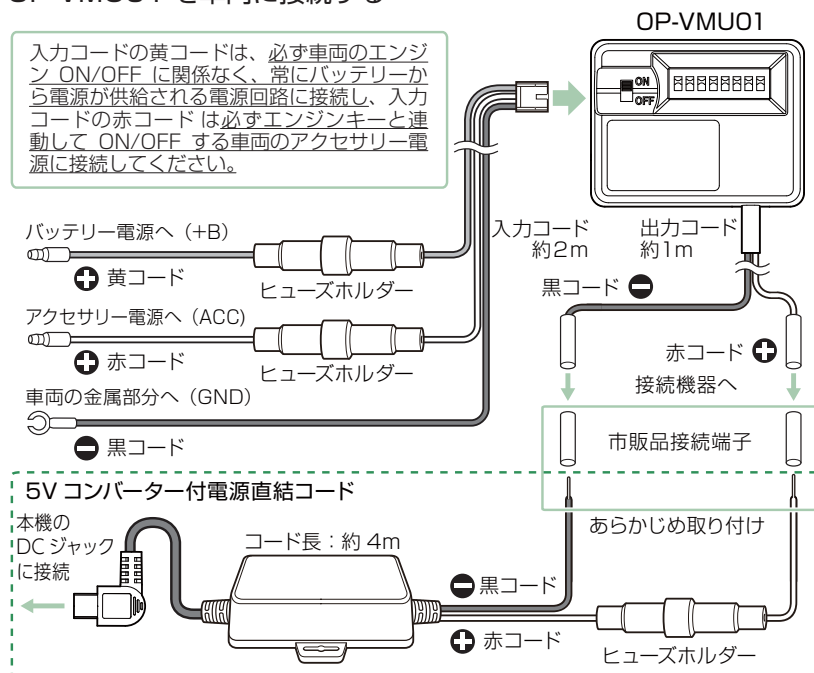
※ 1 : DRY-ST7000c と接続する場合、付属のシガープラグコードは使用せず、別売品の 5V コンバータ付電源直結コード (OP-E755) が必要になります。

2-1 電源スイッチを ON する

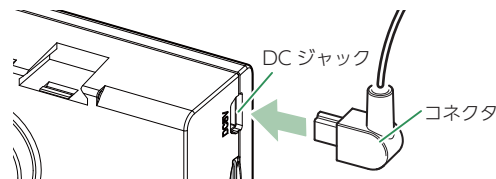


2-2 OP-VMU01 を車両に接続する

入力コードの黄コードは、必ず車両のエンジン ON/OFF に関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続し、入力コードの赤コードは必ずエンジンキーと連動して ON/OFF する車両のアクセサリ電源に接続してください。



2-3 電源直結コードを接続する



付属品の電源直結コードまたは、別売品の電源直結コード (OP-E755) を本体の DC ジャックへ接続します。

※ 電源直結コードのコネクタは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると故障や破損の原因となります。うまく接続できない場合は、接続部分を十分に確認してから接続してください。

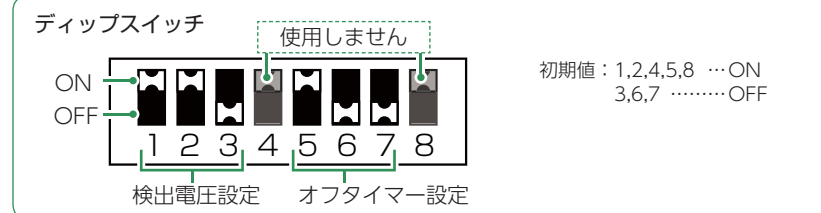
2-4 検出電圧設定とオフタイマー設定をする

エンジン OFF 後、車両のバッテリーが設定したバッテリー電圧以下になると、車両のバッテリーから電源供給を停止する検出電圧設定と、エンジン OFF 後、設定した時間になると車両のバッテリーから電源供給を停止するオフタイマー設定があります。

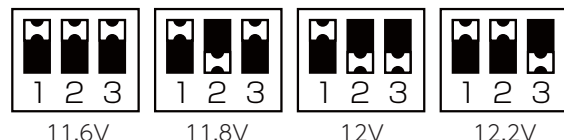
※ディップスイッチの ON/OFF は、先の細いつまようじなどで行ってください。

※ディップスイッチの4, 8は、使用しません。初期値 (ON) のまま変更しないでください。

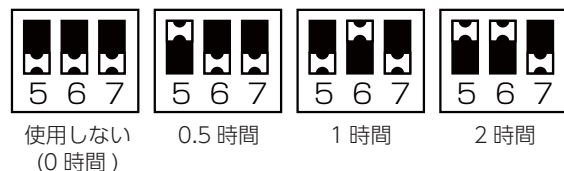
※オフタイマー設定に関係なく、検出電圧設定以下になった場合には車両のバッテリーから電源供給を停止します。



■ 検出電圧設定 (1 ～ 3 使用) 12V 車



■ オフタイマー設定 (5 ～ 7 使用)



オフタイマー設定について

オフタイマー設定を「使用しない (0 時間)」に設定した場合、駐車記録は行いません。駐車記録を行わない場合などに設定してください。

2-5 OP-VMU01 付属の両面テープなどで固定し、配線処理を行う

■ 次のような場所への固定や配線処理は避けてください。

- ・運転やエアバッグ作動時の妨げとなるような場所。
- ・エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・直射日光の当たる場所。
- ・不安定な場所。
- ・配線の噛み込みや被覆の摩擦により、断線やショートしてしまう可能性がある場所。
- ・車両の電装機器 (アンテナ等含む) などの近く。
- ・水のかかる場所や湿気、ほこり、油煙の多い場所。

取り付けと配線終了後、ブレーキやライト、ホーン、ハザード、ウインカーなどの動作が正常に行われるか確認してください。正常に動作しないと火災や感電、交通事故の原因となります。

電源 ON ～ OFF までの手順

ご購入後、初期値のまま使う場合、下記の手順に沿って操作を行います。

エンジン ON

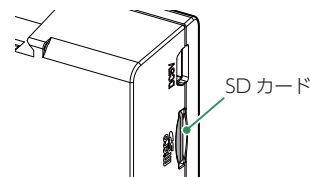


※付属品以外の SD カードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。フォーマットしない場合、録画がうまくできない・録画可能時間が減少するなどの原因になります。

1. 電源 ON (録画を開始する)

本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。

1-1 SD カードが挿入されていることを確認する



- ・SD カードが挿入されていないときは…
電源 OFF 後、電源ランプが 3 秒以上消灯したことを確認して、SD カードを挿入してください。

● P.15「SD カードの取り外し / 装着」

1-2 車両のエンジンを ON する

録画アイコン GPS アイコン 電源ランプ (赤)



・電源ランプについて

電源ランプの状態	本体の動作
赤の点灯	常時録画中
赤の早点滅	「SD カードを挿入してください」警告表示時
赤の遅点滅	イベント記録中
緑の点灯	上記以外の動作
消灯	電源 OFF / 動体検知機能停止中

電源ランプ (赤) と録画アイコンが点灯し、録画を開始します。
GPS を測位すると、 アイコンを表示し、GPS 情報を取得します。
※GPS 情報を取得すると、自動的に日時を調整します。
※GPS の測位に失敗すると、 アイコンを表示します。

GPS 測位について…

購入後、初めて使用する場合、障害物や遮へい物のない見通しの良い場所で 10 分～ 20 分程度通電状態にし、GPS の電波を受信 (測位) させます。

2. 録画を停止する

2-1 OK ボタンを押す

電源ランプ (緑)



録画を停止します。
※録画停止中は、電源ランプ (緑) が点灯し、録画アイコンの表示が消えます。
※録画を再開する場合は、再度 OK ボタンを押してください。

3. SD カードをフォーマットする

必ず 1～2 週間に一度、フォーマットを行ってください。
フォーマット方法は、 P.12「SD カードをフォーマットする」を参照ください。
※付属品以外の SD カードを使用する場合、初回起動時に必ずフォーマットしてください。

フォーマットを行うと、「保護したファイル」も全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

・録画ファイルのバックアップ… P.56「録画ファイルの読み出しについて」

4. レーンキープアシストと前方衝突防止アラートの設定を行う

レーンキープアシストと前方衝突防止アラートは、本機にて設定が必要です。
※設定を行わずに使用すると、うまく働かない場合があります。

注意

！ レーンキープアシストと前方衝突防止アラートの設定は、安全な場所で行ってください。
また、なるべく平坦な場所で行ってください。

4-1 ▽ボタンを押す



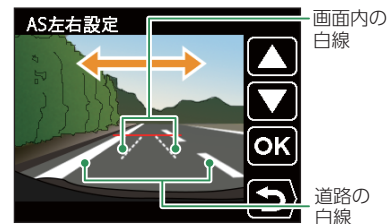
・設定メニューの詳細は…
 P.47「設定メニュー」

設定メニューを表示します。
※動体検知機能が ON の場合は、設定メニューの表示ができません。

4-2 ▽ボタンを押して、「AS 設定」を選択し、OK ボタンを押す



4-3 AS 左右設定をする



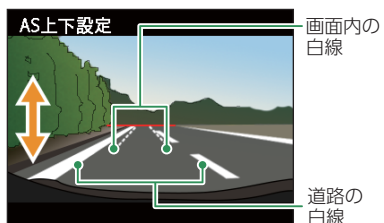
・AS 左右設定画面のボタン機能

ボタン	機能
△	画面内の白線が左へ移動します。
▽	画面内の白線が右へ移動します。
OK	次の設定項目へ移ります。
REC	前の画面へ戻ります。

△▽ボタンを押して画面内の白線と道路の白線の左右位置を合わせ、OK ボタンを押してください。

※画面右のボタン表示は数秒間表示後消えます。

4-4 AS 上下設定をする

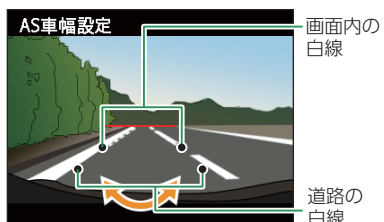


・AS 上下設定画面のボタン機能

ボタン	機 能
△	画面内の白線が上へ移動します。
▽	画面内の白線が下へ移動します。
OK	次の設定項目へ移ります。
REC	前の画面へ戻ります。

△▽ボタンを押して画面内の白線と道路の白線の上下位置を合わせ、OKボタンを押してください。

4-5 AS 車幅設定をする



・AS 車幅設定画面のボタン機能

ボタン	機 能
△	画面内の白線の幅を狭くします。
▽	画面内の白線の幅を広くします。
OK	次の設定項目へ移ります。
REC	前の画面へ戻ります。

△▽ボタンを押して画面内の白線と道路の白線の幅を合わせてください。

画面内の白線と道路の白線が合わない場合…

● P.43 手順「4-3 ～ 4-5」を何度か繰り返し、白線の位置を調整します。

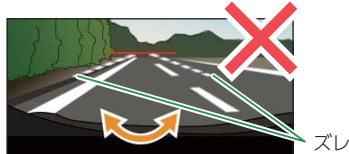
・良い見本

道路上の白線と本体画面内の白線が重なっている

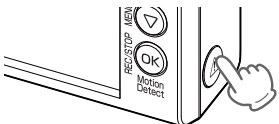


・悪い見本

道路上の白線と本体画面内の白線がズれている



4-6 REC ボタンを押す

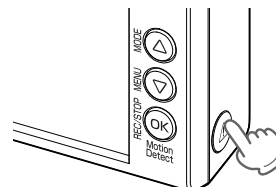


AS 設定が保存され、設定メニュー画面を表示します。

5. 録画を再開する

録画を再開すると、電源ランプ(赤)と録画アイコンが点灯します。

5-1 REC ボタンを押す



動画記録モードを表示し、自動的に録画を開始します。

6. ワンタッチ記録をする

6-1 常時録画中に、REC ボタンを押す



イベント記録アイコンが点灯し、電源ランプ(赤)が遅点滅します。

※ワンタッチ記録終了後は、自動で常時録画に戻ります。

※ワンタッチ記録の詳細は、● P.18 を参照ください。

7. 電源 OFF(録画を停止する)

本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

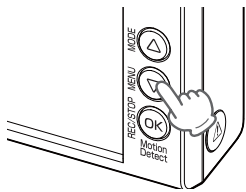
7-1 車両のエンジンを OFF する

録画が停止し、電源 OFF になります。

設定メニューの表示方法

1. 設定メニューを表示する

1-1 本体の電源 ON を確認し、▽ボタンを押す



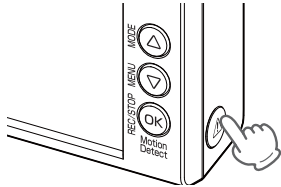
設定	01/04
解像度	▲
音声録音	▼
Gセンサー記録	OK
Gセンサー感度	↶

設定メニューを表示します。
※動体検知機能が ON の場合は設定メニューの表示ができません。

2. 録画を再開する

設定完了後は、下記の手順で録画を再開します。
録画を再開すると、電源ランプ(赤)と録画アイコンが点灯します。

2-1 REC ボタンを押す



動画記録モードを表示し、自動的に録画を開始します。

設定メニュー

設定を確認または変更します。
※設定メニューの表示方法は P.46 を参照ください。

設定	01/04
解像度	▲
音声録音	▼
Gセンサー記録	OK
Gセンサー感度	↶

★は初期値です。

項 目	設 定	説 明
解像度	1440P 30FPS (★)	録画の解像度を選択します。 1440P : 2560 × 1440 1080P HD : 1920 × 1080
	1080P HD 30FPS	「1440P 30FPS」のみ Active Safety 機能が有効になります。*1
音声録音	OFF	音声録音の ON/OFF を設定します。
	ON (★)	
G センサー記録	OFF	G センサー記録を使用するか ON/OFF で設定します。
	ON (★)	
G センサー感度	X : 0.5 ~ 4.0G (1.0G ★)	X (前後方向)、Y (左右方向)、Z (上下方向) の衝撃感度を 0.1G ステップで個別に設定します。感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります。(P.49)
	Y : 0.5 ~ 4.0G (1.0G ★)	
	Z : 0.5 ~ 4.0G (1.0G ★)	
レーンキープアシスト	OFF	レーンキープアシストを使用するか ON/OFF で設定します。 ※解像度が「1440P 30FPS」設定時のみ、レーンキープアシストが有効になります。*1
	ON (★)	
前方衝突防止アラート	OFF	前方衝突防止アラートを使用するか ON/OFF で設定します。 ※解像度が「1440P 30FPS」設定時のみ、前方衝突防止アラートが有効になります。*1
	ON (★)	
AS 設定	—	レーンキープアシストと前方衝突防止アラートの設定を行います。(P.43)
Start information	OFF	Start information を使用するか ON/OFF で設定します。 ※解像度が「1440P 30FPS」設定時のみ、Start information が有効になります。*1
	ON (★)	

★は初期値です。

項 目	設 定	説 明
上書きモード (P.19)	上書き禁止	それぞれの記録方法で上限に達しても、録画ファイルは上書きされません。
	常時録画上書き※ ²	それぞれの記録方法で上限に達した場合、録画ファイルは常時録画のみ古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。
	全て上書き※ ² (★)	それぞれの記録方法で上限に達した場合、それぞれの記録方法の古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。
日時	—	日付や時刻を設定します。 ※手動で設定した場合でも、GPS の日時情報が優先され、変更されます。
音量	OFF / 20% / 40% / 60% / 80% / 100% (★)	本機の音量を設定します。 ※録画ファイルの再生音量や操作音などの音量を個別に設定することはできません。
画面自動オフ	30 秒後 / 3 分後 / 5 分後 / 常時 ON (★)	録画開始から設定時間が経過すると、画面を自動的に OFF します。 ※動体検知機能が ON の場合、無効になります。
SD 初期化	キャンセル	SD カードを初期化 (フォーマット) します。 (P.42)
	実行	※録画ファイルが全て削除されます。
設定初期化	キャンセル	本機をご購入時の設定に戻します。
	実行	
バージョン	—	ファームウェアのバージョンを表示します。

※1：動体検知機能が ON の場合、Active Safety 機能は無効になります。

※2：保護したファイル (P.50) は、上書きされません。
保護したファイルを削除する場合は、ファイルの保護を解除 (P.50) して削除 (P.54) するか、SD カードをフォーマットしてください。 (P.12)

■ 設定メニュー時のボタンの機能

ボタン	機 能
△	設定項目を選択したり、値を増加します。
▽	設定項目を選択したり、値を減少します。
OK	選択項目を決定します。
REC	前の画面へ戻ります。

G センサー感度

頻繁に G センサーが反応する場合は、G センサー感度の設定をすることをお勧めします。

1. G センサー感度を変更する

1-1 ▽ボタンを押して、「G センサー感度」を選択し、OK ボタンを押す



・設定メニューが表示されていない場合…

P.46「設定メニューを表示する」

1-2 △▽ボタンを押して、方向(X, Y, Z)を選択し、OK ボタンを押す



・G センサーについて

X (前後方向)、Y (左右方向)、Z (上下方向) の衝撃感度を 0.1G ステップで個別に設定します。

感度は、数字が小さくなると「敏感」になり、数字が大きくなると「鈍感」になります

選択した方向(X, Y, Z)が青→橙になります。

1-3 △▽ボタンを押して、値を変更し、OK ボタンを押す



・G センサー感度画面のボタン機能

ボタン	機 能
△	値が増加します。
▽	値が減少します。
OK	値を決定します。

1-4 REC ボタンを押す

設定メニューへ戻ります。

録画ファイルの保護について

録画ファイルは下記の手順で保護することができます。

保護した録画ファイルは、フォーマット以外の操作では削除されません。

※保護した録画ファイルを削除する場合は、ファイルの保護を解除（☛ P.52）してから削除（☛ P.54）するか、フォーマット（☛ P.12）することで削除できます。フォーマットを行うと、全ての録画ファイルを削除します。必要に応じてパソコンにバックアップ（☛ P.56）などしてからフォーマットしてください。

⚠ 注意

❗ 初期値では、保護していない録画ファイルは、各記録方法の上限に達すると、上書きされます。（初期値「上書きモード：全て上書き」）

1. 録画ファイルを保護する

1-1 本体の電源 ON を確認し、△ボタンを押す



- ・常時録画とは …… ☛ P.18
- ・G センサー記録とは … ☛ P.18
- ・ワンタッチ記録とは … ☛ P.18

フォルダ選択画面を表示します。

※動体検知機能が ON の場合は、フォルダ選択画面の表示ができません。

1-2 △▽ボタンを押して、録画ファイルの記録方法を選択し、OK ボタンを押す



ファイル選択画面を表示します。

1-3 △▽ボタンを押して、録画ファイルを選択し、OK ボタンを押す



ファイル再生画面を表示します。

1-4 OK ボタンを押す



録画ファイルを再生します。

1-5 OK ボタンを押す



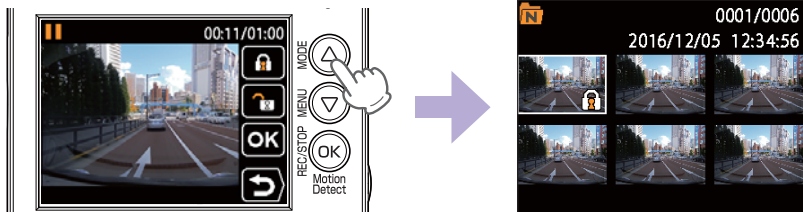
録画ファイルが一時停止し、操作メニューを表示します。

1-6 △ボタンを押す



表示中の録画ファイルを「保護」、または「保護解除」を選択できます。

1-7 △ボタンを押す



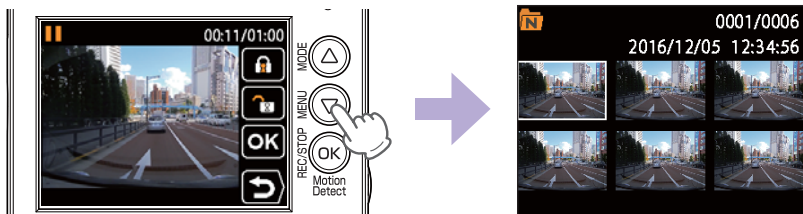
表示中の録画ファイルを保護します。保護が完了すると、ファイル選択画面へ戻ります。

保護が完了すると、ファイル選択画面上に アイコンを表示します。

2. 録画ファイルを保護解除する

2-1 ➡ P.50、51 手順「1-1 ～ 1-6」を行い、保護を解除したい録画ファイルを選択する

2-2 ▽ボタンを押す



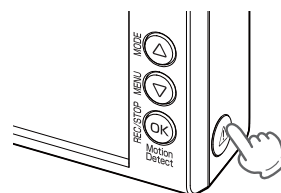
表示中の録画ファイルを保護解除します。保護解除が完了すると、ファイル選択画面へ戻ります。

保護解除すると、ファイル選択画面上の アイコンの表示が消えます。

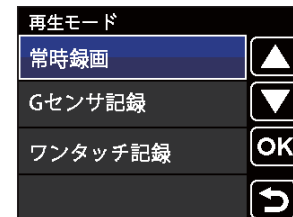
3. 録画を再開する

録画を再開すると、電源ランプ(赤)と録画アイコンが点灯します。

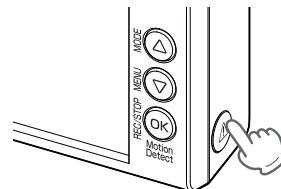
3-1 REC ボタンを押す



フォルダ選択画面へ戻ります。



3-2 REC ボタンを押す



動画記録モードを表示し、自動的に録画を開始します。

保護したファイルで SD カードがいっぱいになると、本機の記録が停止します。必要に応じて録画ファイルをバックアップなどしてから、本機で SD カードをフォーマットしてください。(➡ P.42)

録画ファイルの削除について

録画ファイルは下記の手順で表示中の録画ファイルを削除、またはフォルダ内の録画ファイルを全て削除することができます。

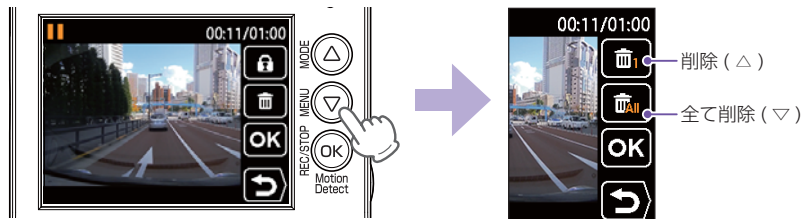
保護した録画ファイルは、フォーマット以外の操作では削除されません。

※保護した録画ファイルを削除する場合は、ファイルの保護を解除 (P.52) してから削除 (P.54) するか、フォーマット (P.12) することで削除できます。フォーマットを行うと、全ての録画ファイルを削除します。必要に応じてパソコンにバックアップ (P.56) などしてからフォーマットしてください。

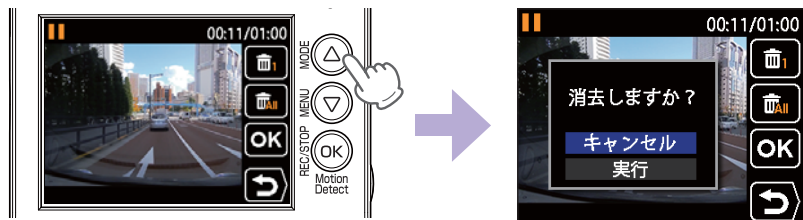
1. 録画ファイルを削除する

1-1 P.50、51 手順「1-1 ~ 1-5」を行い、削除したい録画ファイルを選択する

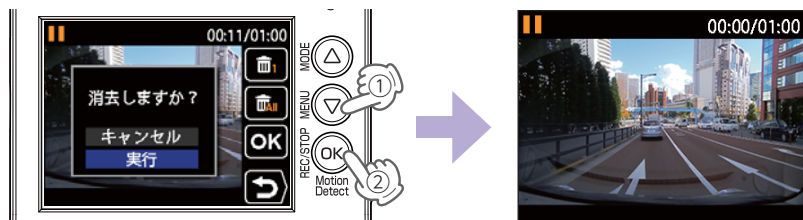
1-2 ▽ボタンを押す



1-3 △ボタンを押す



1-4 ▽ボタンを押して [実行] を選択し、OK ボタンを押す



消去が完了すると、次の録画ファイルのファイル再生画面になります。

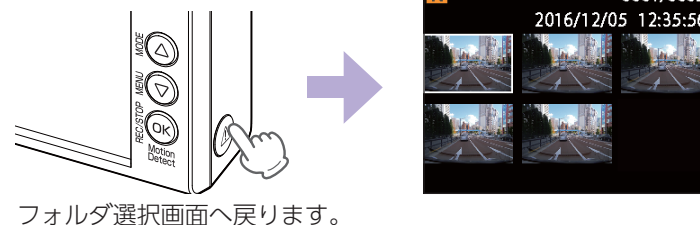
※保護されたファイルの場合、「ファイル保護されています 消去できません」と表示し、削除することはできません。保護解除 (P.52) してから削除を行ってください。

フォルダ内の録画ファイルを全て削除する場合は、P.54 手順「1-3」で ▽ ボタンを押してください。

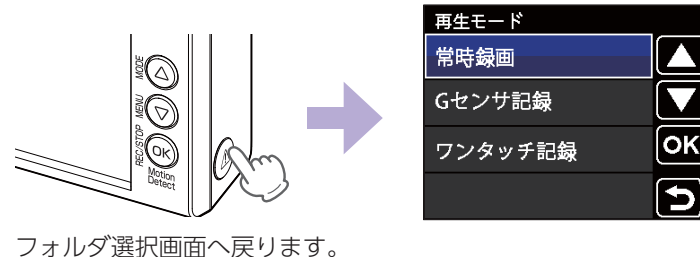
2. 録画を再開する

録画を再開すると、電源ランプ(赤)と録画アイコンが点灯します。

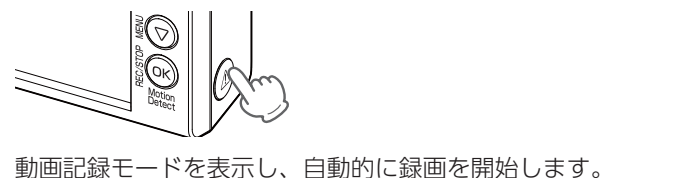
2-1 REC ボタンを押す



2-2 REC ボタンを押す



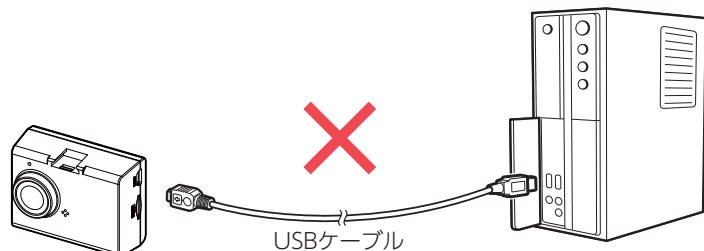
2-3 REC ボタンを押す



録画ファイルの読み出しについて

本機で録画した映像は、通常のファイルと同じようにパソコンで扱うことができます。下記の仕様を満たしたパソコンで再生することができます。

OS : Microsoft Windows 7、8 または 10
CPU: Core2Duo 相当、2.0GHz 以上
メモリ : 2GB 以上



- ※対応 OS や動作環境に関する最新情報は、ホームページをご確認ください。
- ※本体とパソコンを、直接 USB ケーブルなどで接続しないでください。
本体から SD カードを取り出して、SD カードをパソコンと接続してください。
- ※推奨環境の全てのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ※再生する動画の種類によっては処理能力が高いパソコンが必要になります。お使いになるパソコン環境によっては正しく再生されなかったり、正しく動作しない場合があります。
- ※CPU やメモリが動作環境に満たない場合、再生時の動作が遅くなることがあります。
- ※ご使用の SD カード容量に対応していない SD カードリーダーライターを使用した場合、SD カード内のファイルが破損することがあります。

■ ファイル名について

ファイル番号は、記録した順に本機で自動設定されます。

例 20161205 _ 123456 _ 0001 . MOV — 動画

ファイル番号
記録時間 (時分秒)
記録日 (年月日)

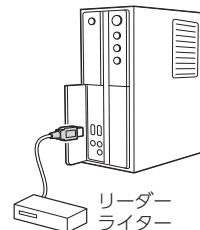
■ フォルダ構造について

各ファイルは、下記のフォルダ構造で保存されています。

SD カード	Normal Rec	20161205_123456_0001.MOV
		⋮
	Gsensor Rec	20161205_133456_0002.MOV
		⋮
	EVSW	20161205_143456_0003.MOV
		⋮

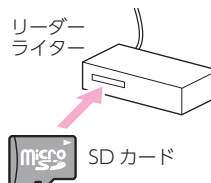
1. SD カードを直接パソコンと接続する

1-1 リーダーライターをパソコンに接続する

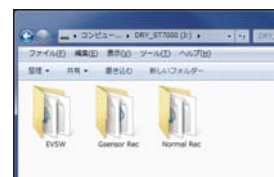


※SD カードを直接接続できるパソコンの場合は、リーダーライターを接続する必要はありません。

1-2 SD カードをリーダーライターに接続する

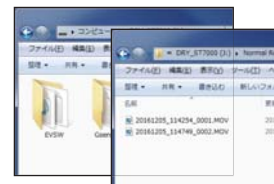


1-3 SD カードを開き、再生したいファイルがあるフォルダを開く



- ・フォルダ名について
常時録画…[Normal Rec]
G センサー記録…[Gsensor Rec] フォルダ
ワンタッチ記録…[EVSW] フォルダ

1-4 録画ファイルをダブルクリックする



Windows 標準の Windows Media Player で再生することができます。

専用ビューアソフトで再生する

本機で録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフトをインストールすることにより、GoogleMaps と連動させて表示することが出来ます。

※ 自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 準備する

弊社ホームページより専用ビューアソフトをダウンロードし、インストールを行ってください。

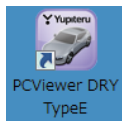
※ インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。 <http://www.yupiteru.co.jp/>

※ 誤って専用ビューアソフトを削除した場合、または OS やシステムのアップデートにより正常に動作しなくなった場合は、弊社ホームページより最新の専用ビューアソフトをダウンロードしてください。

※ Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、専用ビューアソフトで地図が表示できないなど、正しく動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。

2. 専用ビューアソフトを起動する

2-1 [PC Viewer DRY-TypeE] アイコンをクリックする

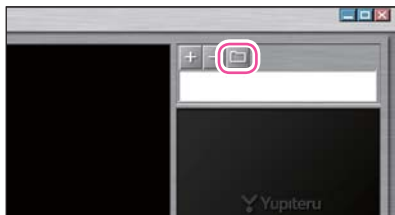


専用ビューアソフトが起動します。

※ 専用ビューアソフトをインストールする際、デスクトップ上にアイコンを作成できます。

3. 録画ファイルを再生する

3-1 (フォルダを再生リストに読込) をクリックする



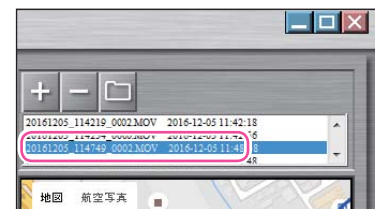
3-2 接続した SD カードのフォルダを選択し、[OK] をクリックする



- ・フォルダ名について
常時録画…「Normal Rec」
G センサー記録…「Gsensor Rec」フォルダ
ワンタッチ記録…「EVSU」フォルダ

選択したフォルダの録画ファイルを読み込みます。

3-3 録画ファイルをダブルクリックする



- ・専用ビューアソフトの詳細は…
▶ P.60「専用ビューアソフト」

選択した録画ファイルを再生します。

4. 専用ビューアソフトを終了する

4-1 専用ビューアソフト右上の [X] をクリックする



専用ビューアソフトが終了します。

専用ビューアソフト

専用ビューアソフトでは、映像の再生や自車位置、G センサーグラフ等を表示できます。

※ インストール方法は、弊社ホームページをご確認ください。 <http://www.yupiteru.co.jp/>

※ 自車位置の表示にはインターネット接続環境が必要です。

1. 専用ビューアソフトの画面について



<標準表示>



<全画面表示>

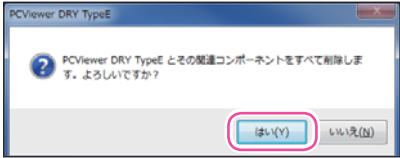
No.	表示名	説 明	
①	バージョン	専用ビューアソフトのバージョンを表示します。	
②	表示エリア	選択した録画ファイルの映像を表示します。	
③	タイムライン	クリック位置から再生できます。	
④	ファイルコントロール	 1 ファイルを開く	録画ファイルを 1 ファイル開いて再生します。 ※「1 ファイルを開く」を行っても、再生リストには追加されません。
		 停止	再生中の録画ファイルを停止します。
		 再生 / 一時停止	録画ファイルを再生 / 一時停止します。 ※再生リストに複数の録画ファイルがある場合、連続して再生します。
		 ウィンドウサイズ切替	映像の全画面表示 / 標準表示を切り替えます。
		 静止画変換	再生中、一時停止中の映像から静止画 (JPEG ファイル) に変換して保存します。
		 1 フレーム再生	クリック毎に 1 フレーム進めた映像を表示します。
⑤	G センサーグラフ	録画ファイルに埋め込まれている G センサーデータを X 軸、Y 軸、Z 軸でグラフ表示します。	
⑥	プログラム	 最小化	ウィンドウを最小化します。
		 最大化  元に戻す	ウィンドウを最大化 / 元に戻します。
		 閉じる	ソフトウェアを終了します。
⑦	再生リストの操作	 ファイルを再生リストへ追加	再生リストに 1 ファイル追加します。
		 ファイルを再生リストから削除	再生リストから 1 ファイル削除します。 ※再生リストから削除しても SD カード内の録画ファイルは削除されません。
		 フォルダを再生リストに読み込み	再生リストに、フォルダ単位で録画ファイルを読み込みます。
⑧	再生リスト	録画ファイルのファイル名と録画終了日時 (年月日と時分秒) を表示します。 ※ファイル名の詳細は P.56「録画ファイルの読み出しについて」を参照ください。	
⑨	地図表示	読み込まれた映像は Google Maps に連動して自車位置が移動します。 ※インターネットに接続されていないと、地図 (Google Maps) は表示されません。	
⑩	走行速度表示	GPS で記録した走行速度を表示します。 ※GPS データがない場合は変化しません。	
⑪	ファイル情報	表示している画面の緯度・経度・高度・加速度 (X・Y・Z) を表示します。	

2. 専用ビューアソフトをアンインストールする

専用ビューアソフトが不要になった場合、以下の方法でパソコンから削除できます。

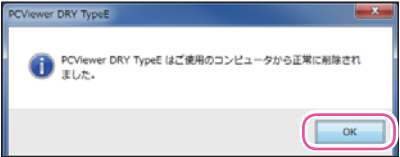
2-1 スタートメニューの [PC Viewer DRY-TypeE] から、[PC Viewer DRY-TypeE Uninstall] を選択する

2-2 [はい] をクリックする



アンインストールを開始します。

2-3 [OK] をクリックする

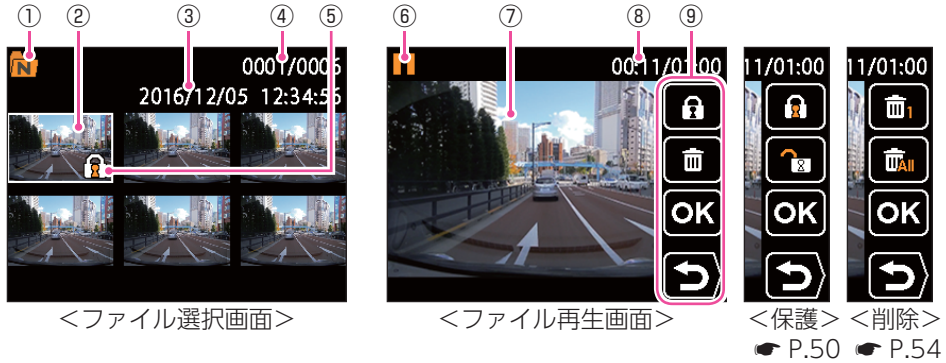


アンインストールが完了します。

再生モード

再生モードでは、録画ファイルを本機上で再生できます。

※再生モードの表示方法は P.65 を参照ください。



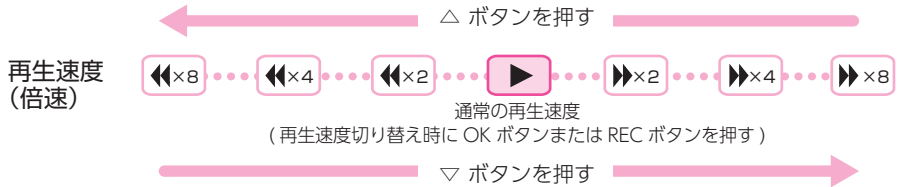
No.	表示名	説 明	
①	フォルダアイコン		常時録画フォルダを選択中に表示します。
			イベント記録フォルダ (G センサー記録とワンタッチ記録) を選択中に表示します。
②	選択中のファイル	選択中の録画ファイルを白色枠で表示します。	
③	記録日時	録画した日時を表示します。	
④	ファイル数	現在のファイル / 総ファイル数を表示します。	
⑤	ファイル保護アイコン	保護した録画ファイル上に表示します。(P.50)	
⑥	動作アイコン	動作の状態をアイコンで表示します。	
			再生中に表示します。
			早送り中に表示します。
			巻き戻し中に表示します。
			一時停止中に表示します。
			8 倍速の早送り・巻き戻し中に表示します。
			4 倍速の早送り・巻き戻し中に表示します。
			2 倍速の早送り・巻き戻し中に表示します。
⑦	記録映像	録画ファイルを再生します。	
⑧	再生時間	現在の再生時間 / ファイル総時間を表示します。	
⑨	操作メニュー	録画ファイルの保護、削除などを行います。 (P.64「操作メニュー」) ※操作メニューは一時停止中のみ表示します。	

■ 再生モード時のボタンの機能

ボタン	動作	機能
△	ファイル選択時	前の録画ファイルを表示します。
	ファイル再生時	再生速度を切り替えます。
▽	ファイル選択時	次の録画ファイルを表示します。
	ファイル再生時	再生速度を切り替えます。
OK	ファイル選択時	録画ファイルを再生します。
	ファイル再生時	再生を停止し、操作メニューを表示します。 / 再生速度切り替え時に押すと、通常の再生速度に戻ります。
REC	前の画面へ戻ります。 / 再生速度切り替え時に押すと、通常の再生速度に戻ります。	

■ 再生速度の切り替え

ファイル再生画面を表示すると、通常の再生速度(×1倍速)で再生されます。
△ボタンと▽ボタンを押すことで再生速度を切り替えます。
再生速度切り替え時に、OKボタンまたはRECボタンを押すと通常の再生速度に戻ります。



※▶は早送り、◀は巻き戻し、▶は通常の再生です。
※早送り、巻き戻し中は音声は再生されません。



■ 操作メニュー

アイコン	本体ボタン	説明
	△	保護 録画ファイルを保護します。(P.50)
		保護解除 録画ファイルを保護解除します。(P.52)
	▽	削除 録画ファイルを削除します。(P.54)
		すべて削除 録画ファイルを全て削除します。(P.54)
	OK	決定 選択項目を決定します。
	REC	戻る 前の画面に戻ります。

再生モードの表示・再生方法

1. 再生モードを表示する

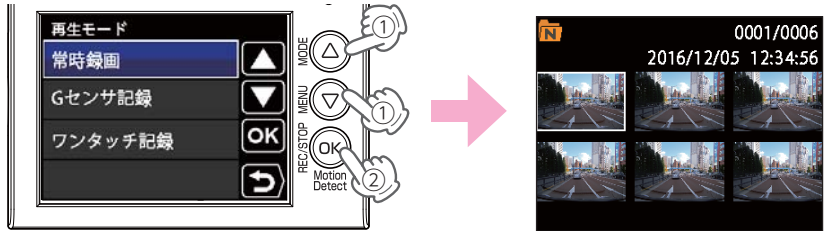
1-1 本体の電源 ON を確認し、△ボタンを押す



再生モードのフォルダ選択画面を表示します。
※動体検知機能が ON の場合は、フォルダ選択画面を表示できません。
※駐車記録中の録画ファイルは「常時録画」に記録されます。

2. 本機で録画ファイルを再生する

2-1 △▽ボタンを押して、記録方法を選択し、OKボタンを押す

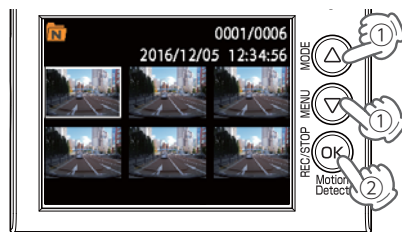


ファイル選択画面を表示します。
※ファイルがない場合、ファイル選択画面上に「ファイルがありません」と表示します。
REC ボタンを押すとフォルダ選択画面に戻ります。

※ファイルが再生できない場合、ファイル選択画面上に を表示します。



2-2 △▽ボタンを押して、録画ファイルを選択し、OKボタンを押す



ファイル再生画面を表示します。



2-3 OK ボタンを押す



録画ファイルを再生します。

録画ファイルが複数ある場合は、連続して再生します。

3. 再生中の録画ファイルを一時停止する

3-1 OK ボタンを押す



・操作メニューの詳細は…

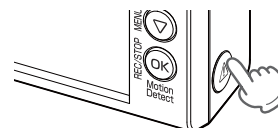
➡ P.64「操作メニュー」

録画ファイルが一時停止し、操作メニューを表示します。

4. 録画を再開する

録画を再開すると、電源ランプ(赤)と録画アイコンが点灯します。

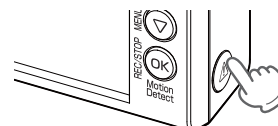
4-1 REC ボタンを押す



録画ファイルを再生します。



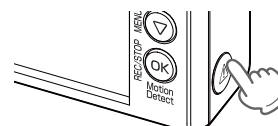
4-2 REC ボタンを押す



録画ファイルを停止します。



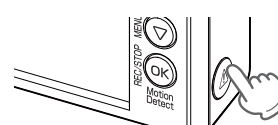
4-3 REC ボタンを押す



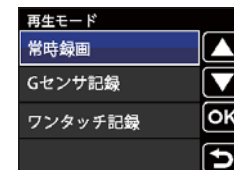
ファイル選択画面を表示します。



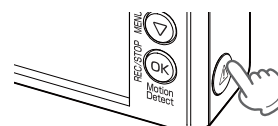
4-4 REC ボタンを押す



フォルダ選択画面を表示します。



4-5 REC ボタンを押す



動画記録モードを表示し、自動的に録画を開始します。

故障かな？と思ったら

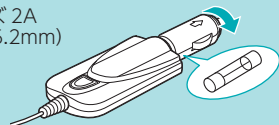
電源が ON にならない

- 電源内部のヒューズが切れていないか確認してください。

< DRY-ST7000c >

シガープラグの先端を矢印の方向に回してヒューズを取り出します。

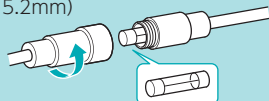
交換ヒューズ 2A
(20mm × 5.2mm)



< DRY-ST7000d >

ヒューズホルダーを矢印の方向に回してヒューズを取り出します。

交換ヒューズ 2A
(20mm × 5.2mm)



映像が記録できない

- SD カードが正しく挿入されていますか。(● P.15)

- 保護したファイルで SD カードがいっぱいになっていませんか。

保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する(● P.54)か、SD カードをフォーマットする(● P.12)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。保護したファイルには、ファイル選択画面上で  アイコンを表示します。

動体検知機能が動作しない

- 常時録画中に OK ボタンを 3 秒以上長押ししましたか。

録画停止中、またはイベント記録中に OK ボタンを 3 秒以上長押ししても動体検知機能は ON しません。

- 検出範囲内でしたか。(● P.23)

- 上書きモードは「上書き禁止」以外になっていますか。

上書きモードが「上書き禁止」の場合、動体検知機能が作動中に録画ファイルが SD カード容量の上限に達すると「SD カードがいっぱいです」と表示し自動的に電源 OFF します。動体検知機能を使用する場合は、上書きモードを「上書き禁止」以外に設定してください。(● P.47)

Start information がうまく働かない

- 本機の取り付け位置を確認してください。(● P.30)

Start information は、前方の車両を認識してお知らせを行います。前方車両を正しく認識できない位置に本機を設置すると、Start information がうまく働かない場合があります。

イベント記録ファイルがない

- イベント記録中に電源 OFF していませんか。

イベント記録中に電源 OFF した場合は、見えないファイルや壊れた状態のファイルとなる場合があります。

- 事故発生時の衝撃が弱くありませんでしたか。

事故発生時の衝撃が弱い場合、G センサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。(● P.18「常時録画」)

Active Safety 機能が動作しない

- 解像度を確認してください。

解像度が「1440P 30FPS」(初期値)設定時のみ有効です。

解像度を「1080P HD 30FPS」に設定した場合、Start information を「ON」に設定していても、お知らせを行いません。

AS 設定ラインのありなしで Active Safety 機能が有効か無効かの判断ができます。

「AS 設定ラインあり：有効」、 「AS 設定ラインなし：無効」



AS 設定ライン

- 動体検知機能が ON になっていませんか。

動体検知機能が ON の場合、Active Safety 機能は無効になります。動体検知機能を OFF してください。(● P.24)

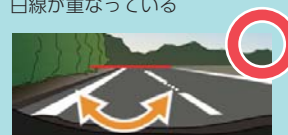
レーンキープアシストや前方衝突防止アラートがうまく働かない

- AS 設定を確認してください。

レーンキープアシストと前方衝突防止アラートは、設定が必要です。(● P.43)

・ 良い見本

道路上の白線と本体画面内の白線が重なっている



・ 悪い見本

道路上の白線と本体画面内の白線がずれている



- GPS 測位していましたか。

レーンキープアシストや前方衝突防止アラートは、GPS を測位した状態で機能します。

GPS 測位の状態は、画面上部のアイコンで確認できます。



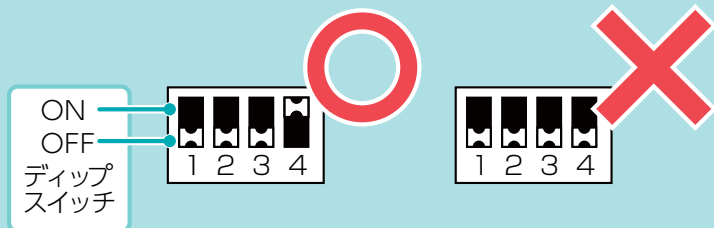
測位時



非測位時

マルチバッテリー接続時に駐車記録が動作しない

- ☐ 電源コネクタは接続されていますか。
電源コネクタが接続されていないとマルチバッテリーは充電されず、車両のエンジン OFF 後の本機への電源供給が行われません。(P.35)
- ☐ オフタイマー設定が「使用しない」になっていませんか。
オフタイマー設定が「使用しない」になっていると、車両のエンジン OFF 後の本機への電源供給が行われません。
- ☐ ディップスイッチ 4 が OFF になっていませんか。
ディップスイッチ 4 が OFF になっていると、車両のエンジン OFF 後の本機への電源供給が行われません。



電圧監視機能付電源直結ユニット接続時に駐車記録が動作しない

- ☐ 電源スイッチは ON になっていますか。
OFF になっている場合は、電圧監視機能付電源直結ユニットは動作しません。(P.38)
- ☐ オフタイマー設定が「使用しない」になっていませんか。
オフタイマー設定が「使用しない」になっていると、車両のエンジン OFF 後の本機への電源供給が行われません。

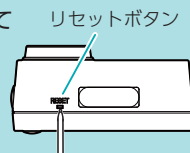
■ リセットボタンについて

画面が固まって
動かない

こんなときは

ボタンを押しても
反応しない

リセットボタンを押して
再起動してください。



動作しなくなったり、誤作動を起こしたときは、本体下部のリセットボタンを押して、システムを再起動させてください。

※リセットボタンを押しても SD カードに記録したデータは消えません。

エラー表示一覧

エラーメッセージ

SDカードを
挿入してください

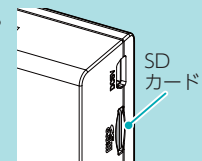
SDカードエラー

SDカードが
いっぱいです

対処方法

- ☐ SD カードが正しく挿入されていますか。(P.15)

※電源 ON 中に SD カードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。



- ☐ SD カードの容量は、下記の対応範囲内ですか。

- ・記録媒体：microSDHC カード
- ・容量：8 ～ 32GB
- ・SD スピードクラス：Class10 以上

- ☐ SD カードが正しく挿入されていますか。(P.15)

※電源 ON 中に SD カードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。

- ☐ 本機で SD カードをフォーマットしてください。

フォーマットを行うと、保護したファイルも全て削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(P.12)

- ☐ 上書きモードが「上書き禁止」になっていませんか。

上書きモードを「上書き禁止」に設定した場合、常時録画が SD カード容量の上限に達すると、録画を停止します。上書きモードの設定は、「設定メニュー」→「上書きモード」で確認できます。(P.47)

- ☐ 保護したファイルで SD カードがいっぱいになっていませんか。

保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する(P.52)か、SD カードをフォーマットする(P.12)ことで録画ファイルをすべて削除することができます。保護したファイルには、ファイル選択画面上で  アイコンを表示します。



- ☐ 本機で SD カードをフォーマットしてください。

フォーマットを行うと、保護したファイルも全て削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(P.12)

エラーメッセージ	対処方法
SDカードを読み込めません	☐ SD カードを認識できていません。 左のエラーメッセージを表示したあとに、「SD カードを初期化しますか?」と表示し、そのまま初期化 (フォーマット) を行うことができます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(P.12)
イベント領域がいっぱいです	☐ 上書きモードが「上書き禁止」または「常時録画上書き」になっていませんか。 上書きモードを「上書き禁止」または「常時録画上書き」に設定した場合、イベント記録が最大記録件数に達すると、イベント記録を停止します。上書きモードの設定は、「設定メニュー」→「上書きモード」で確認できます。(P.47)
	☐ 保護したファイルで最大記録件数に達していませんか。 保護したファイルは、上書きできません。保護を解除する (P.52) か、SD カードをフォーマットする (P.12) ことで録画ファイルをすべて削除することができます。保護したファイルには、ファイル選択画面上で、  アイコンを表示します。
SDカードの初期化に失敗しました	☐ SD カードの容量は、下記の対応範囲内ですか。 ・記録媒体：microSDHC カード ・容量：8 ～ 32GB ・SD スピードクラス：Class10 以上
	☐ SD カードが正しく挿入されていますか。(P.15) ※電源 ON 中に SD カードの抜き差しを行った場合、自動で再起動します。
	☐ 他の機器で認識することができるかを確認してください。 本機から SD カードを取り外し、パソコンなどの機器に接続して、SD カードが認識できるか確認してください。
ファイル保護されています 消去できません	☐ パソコンなどで録画ファイルを削除してください。 本機で削除できない場合、パソコンなどで録画ファイルを削除してください。(P.56)
	☐ 本機で SD カードをフォーマットしてください。 フォーマットを行うと、保護したファイルも全て削除されます。必要に応じて録画ファイルをパソコンなどにバックアップしてから、本機でフォーマットしてください。(P.12)



仕様	
電源電圧	本体：DC 5V (DC 12V マイナスアース車専用)
消費電力	5W
カメラ素子	400 万画素カラー CMOS
視野角※ 1	レンズ画角：対角 148° 最大記録画角：対角 145° (120° (水平)、63° (垂直))
モニター	2.0 インチ フルカラー TFT 液晶
記録解像度	350 万画素
画像サイズ	1440P (2560 × 1440) / 1080P HD (1920 × 1080)
録画ファイル構成	1 分単位
記録媒体	microSD カード (16GB 付属)
記録形式	MOV (H.264)
フレームレート	30 コマ / 秒
動作温度範囲	0℃ ～ + 60℃
外形寸法	本機：60 (W) × 45 (H) × 28 (D) mm (突起部除く) ※取付ブラケット (テープ貼付) 装着時 78 (H) mm (窓ガラス 25° 想定の場合) OP-MB4000 (別売品)：144 (W) × 33 (H) × 131 (D) mm (突起部除く) OP-VMU01 (別売品)：46 (W) × 36 (H) × 16 (D) mm (突起部除く)
重量	本機：約 64g (microSD カード含む) OP-MB4000 (別売品)：約 950g (内蔵電池含む) OP-VMU01 (別売品)：約 34g
別売品：マルチバッテリー (OP-MB4000)	
入力電圧	DC12V (最大 6A)
出力電圧	出力端子 B:12V (1A)
オフタイマー設定時間	0.5 時間 / 1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 4 時間 / 6 時間 / 12 時間
内蔵電池	ニッケル水素電池 12V/4,000mAh
動作温度範囲	0 ～ 45℃
別売品：電圧監視機能付電源直結ユニット (OP-VMU01)	
入力電圧	DC12V/24V
出力電圧	DC12V/24V (入力に準ずる)
検出電圧設定値	12V 車:11.6V/11.8V/12V/12.2V、24V 車:23.6V/23.8V/24V/24.2V
オフタイマー設定時間	0.5 時間 / 1 時間 / 2 時間 / 3 時間 / 4 時間 / 6 時間 / 12 時間
動作温度範囲	-10 ～ 60℃

※ 1：解像度により記録される視野角が変化します。

超広角レンズのため、視野角の水平、垂直と対角の比率は異なります。

・この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
 なお、本文中では TM、®マークは明記していません。

microSD カード対応一覧表

※本機と付属品以外の microSD カードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

⚠ 注意

● 容量が大きい microSD カードを使用した場合、ファイル数の増加により本機の動作が遅くなることがあります。

記録媒体	microSDHC カード
容量	8 ～ 32GB
SD スピードクラス	Class 10 以上

※スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。

1. 録画時間の目安

microSD カード容量	1440P	1080P HD
32GB	約 140 分	約 200 分
16GB(付属品)	約 70 分	約 100 分
8GB	約 35 分	約 50 分

- ・上記値は目安で、絶対保証値ではありません。
- ・録画時間は、常時録画とイベント記録（Gセンサー記録とワンタッチ記録）の全ての録画時間の合計です。

お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因、解像度（● P.47）により録画可能時間は変化します。

2. イベント記録の最大記録件数

microSD カード容量	1440P	1080P HD
32GB	64 件	64 件
16GB(付属品)	32 件	32 件
8GB	16 件	16 件

- ・最大記録件数は、G センサー記録とワンタッチ記録を合わせた件数です。

アフターサービス

- 保証書(裏表紙参照)
保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
 - 保証期間
お買い上げの日から 1 年間です。
 - 対象部分機器
本体(消耗部品は除く)
 - 修理をご依頼されるとき
「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
 - 保証期間中有的时候
保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。
 - 保証期間が過ぎているとき
まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- ※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

1. お客様ご相談センター

- お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。
- ・下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
 - ・電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
 - ・紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター  0120-998-036

本機のアップデート情報、最新の取扱説明書や専用ビューアソフトは随時、弊社ホームページに公開されます。最新情報は弊社ホームページでご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

2. 付属品・別売品の購入について

- ・付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用 ○○(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。  Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
詳しくは、右記ホームページをご確認ください。 <https://spareparts.yupiteru.co.jp/>